TOSHIBA

TXシリーズ、AXシリーズ、TXWシリーズ

いろいろな機能を使おう

パソコンを使いこなそう

dynabook

この本の読みかた

本書は、次の7つの章と付録で構成されています。
奇数ページの右端と偶数ページの左端には、各章のマークをつけてあります。
マークは章ごとに一段ずつ下げてあるので、目的の章を検索するときにご利用ください。

1章　パソコンの基本操作を覚えよう

パソコンの各部の名前から始まり、パソコン本体に用意されているボタンやスロット、さまざまな機能について説明しています。

2章　ネットワークの世界へ

パソコンを外の世界と結ぶネットワーク。世界中と結ぶインターネットから、家族と結ぶLANまで、各ネットワークについて説明しています。

3章　周辺機器を使って機能を広げよう

パソコン本体に用意されているコネクタにいろいろな機器をつないで、機能を広げることができます。本パソコンにはどんなコネクタが用意されていて、どんな機器が接続できるのかを説明しています。

4章　バッテリ駆動で使う

屋外やテラスなど、電源コンセントがない場所で使用するために、本パソコンにはバッテリ駆動の機能が用意されています。バッテリ駆動で使用するための充電方法や、バッテリの交換手順を説明しています。

5章　システム環境の変更

パソコンのシステム構成を変更するBIOSセットアップの操作方法を説明しています。

6章　パソコンの動作がおかしいときは

なんだか動きがおかしい、故障？と思うようなとき、また使用上困ってしまってどうしようもないときなどのトラブル解消方法を紹介しています。

7章　お問い合わせされるときは

本製品に用意されているアプリケーションなどのお問い合わせ先を掲載しています。

付録

本製品を使用するにあたってのお願いと、無線LANのご使用になれる国／地域などの、技術基準についての規格文書を掲載しています。

1章
2章
3章
4章
5章
6章
7章
付録

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。
必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。
本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

記号	意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 他のマニュアルへの参照の場合…『　』 おたすけナビ、できるdynabook への参照の場合…《　》 おたすけナビにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows Vistaです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Vista

Windows Vista™ Home Premium または Windows Vista™ Home Basic を示します。

おたすけナビ

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ

DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 詳細について「1章 4 CDやDVDを使う」

Premiumモデル

Windows Vista™ Home Premium が搭載されているモデルを示します。

Basicモデル

Windows Vista™ Home Basic が搭載されているモデルを示します。

Office搭載モデル

Microsoft® Office Personal 2007およびMicrosoft® Office OneNote® 2007がプレインストールされているモデルを示します。

TX/67Aシリーズ、TX/66Aシリーズ、TX/65Aシリーズ

モデル名が、それぞれ dynabook「TX/67A」、「TX/66A」、「TX/65A」で始まるモデルを示します。

AX/55Aシリーズ

モデル名が、dynabook「AX/55A」で始まるモデルを示します。

TXW/69AWシリーズ、TXW/67AWシリーズ、TXW/66AWシリーズ

モデル名が、それぞれ dynabook Satellite「TXW/69AW」、「TXW/67AW」、「TXW/66AW」で始まるモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名については、パソコン本体のプロダクトバッジを確認してください。

参照 プロダクトバッジ「1章 1-1 前面図」

3 記載について

- 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書をはじめとする取扱説明書では、コントロールパネルの操作方法については、「コントロールパネルホーム」に設定していることを前提に記載しています。「クラシック表示」になっている場合は、「コントロールパネルホーム」に切り替えてから操作説明を確認してください。

参照 コントロールパネルホームとクラシック表示
《おたすけナビ（検索）：コントロールパネルの使いかた》

- キーボード操作の説明は、キーボードの文字をすべて大文字で表記しています。ご購入のモデルによっては、キーボードの大文字と小文字の表記が異なる場合があります。また、その際、カナ／かな キーは、カタカナ／ひらがな キーに該当します。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows Vista、Excel、OneNote、Outlook、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、インテル、インテル Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標、または登録商標です。
- BeatJam、CyberSupport、ラベルマイティは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJam、CyberSupport、ラベルマイティ5［セレクト版］、おたすけナビは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、BeatJam、CyberSupport、ラベルマイティ5［セレクト版］、おたすけナビにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- MagicGate、メモリースティック、メモリースティックロゴ、メモリースティック Duo、メモリースティックPRO、メモリースティックPRO Duo は、ソニー株式会社の商標です。
- xD-ピクチャーカード™は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- i.LINK、i.LINKロゴは商標です。
- LaLaVoice、ConfigFree、おたすけナビは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
- 「駅前探険倶楽部」、「駅探」は登録商標です。
- The 翻訳、The 翻訳インターネットは東芝ソリューション株式会社の商標です。
- Adobe、Adobe Reader はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- InterVideo、WinDVDはInterVideo Incorporatedの登録商標または商標です。
- UleadおよびUleadロゴ、DVD MovieWriterはUlead Systems, Inc. またはユーリードシステムズ株式会社の商標または登録商標です。

● Corel Photo Album、Corel Paint Shop Pro Photo、Corelの商品名およびロゴは、Corel Corporationまたはその関連会社の商標または登録商標です。
● McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
● TRENDMICRO、ウイルスバスターはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
●「PC引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。
● Javaはサンマイクロシステムズ社の米国および他の国における登録商標または商標です。
● gooスティックは、NTTレゾナント株式会社の商標です。
●「アイフィルター」は、デジタルアーツ株式会社の商標です。
●「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
● OCNはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
● ODNはソフトバンクテレコムの商標です。
● So-net、ソネット、およびSo-netのロゴはソネットエンタテインメント株式会社の商標、または登録商標です。
●「Yahoo!」は、Yahoo! Inc. の登録商標です。
ヤフー株式会社は、これに関する権利を有しています。
●「Yahoo! BB ADSL」は、BBテクノロジー株式会社、ヤフー株式会社が提供するサービスです。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

● 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
● ACアダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
● マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
● 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
● 複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
● 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
● 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

■64ビットプロセッサに関する注意

＊インテル Core 2 Duoプロセッサーを搭載したモデルのみ

64ビット対応プロセッサは、64ビットまたは32ビットで動作するように最適化されています。64ビット対応プロセッサは以下の条件をすべて満たす場合に64ビットで動作します。

- 64ビット対応のOS（オペレーティングシステム）がインストールされている
- 64ビット対応のCPU/チップセットが搭載されている
- 64ビット対応のBIOSが搭載されている
- 64ビット対応のデバイスドライバがインストールされている
- 64ビット対応のアプリケーションがインストールされている

特定のデバイスドライバおよびアプリケーションは64ビットプロセッサ上で正常に動作しない場合があります。
プレインストールされているOSが、64ビット対応と明示されていない場合、32ビット対応のOSがプレインストールされています。

この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝PCあんしんサポート 0120-97-1048 にお問い合わせください。

6 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

8 使い終わったとき

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る方法のほかに、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する方法があります。この機能を、「スリープ」と呼びます。
スリープ機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。その場合スリープ中でもバッテリを消耗しますので、ACアダプタを取り付けておくことを推奨します。
なお数日以上使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（増設メモリの取り付け／取りはずしや、バッテリパックの取り付け／取りはずしなど）は、スリープではなく、必ず電源を切ってください。

参照 スリープ／電源を切る『準備しよう 1章 4 使い終わりと使いはじめ』

9 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows Vista Home Basic搭載のモデルでは、Windows Vista Home Premiumに搭載の一部の機能（Windows Aeroインタフェース、フリップ3Dなど）の機能はご利用になれません。
- Windows標準のシステムツールまたは『準備しよう』に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有償です。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワード設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書は表示されなくなります。リカバリを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書兼お客様登録カード』は、「東芝保証書」と「お客様登録カード」を中央の切り取り線で切り離せます。「東芝保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。付属の『お客様登録カード』または弊社ホームページで登録できます。

参照 詳細について『準備しよう 6章 1 お客様登録の手続き』

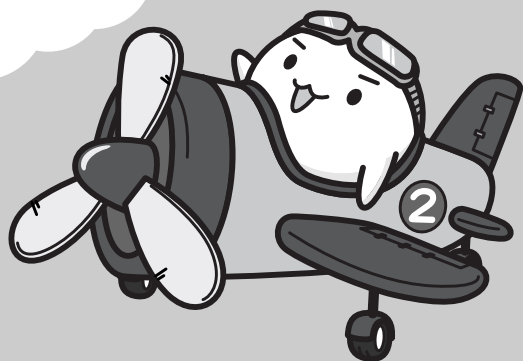
10 ［ユーザー アカウント制御］について

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、内容を確認し、［続行］または［許可］ボタンをクリックしてください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

1 章

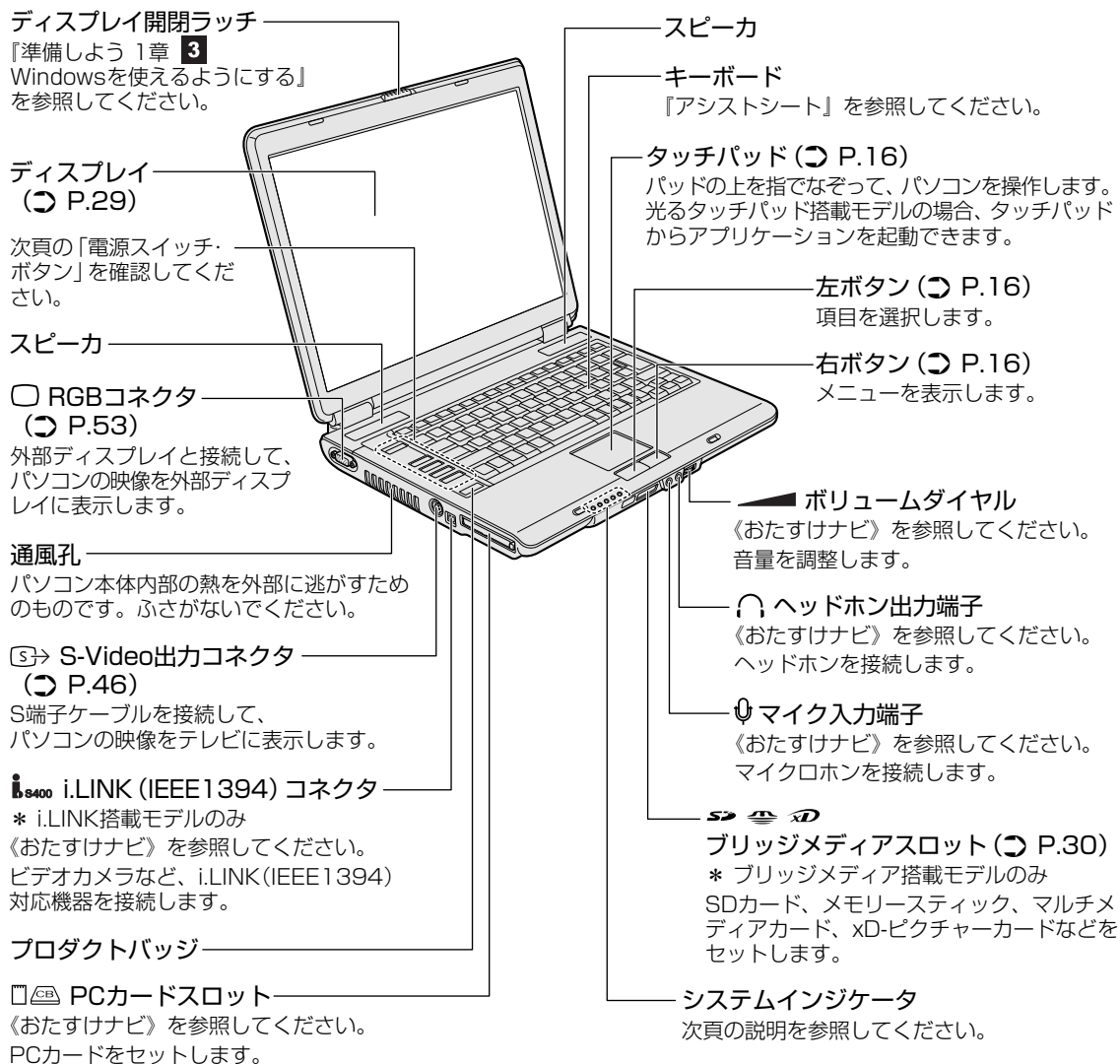
パソコンの基本操作を覚えよう

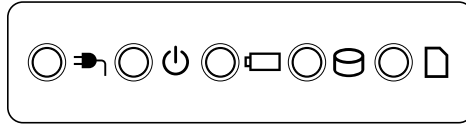
このパソコン本体の各部について、役割、基本の使いかたなどを説明しています。

1 各部の名称
― 外観図 ―

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページや各マニュアルを確認してください。

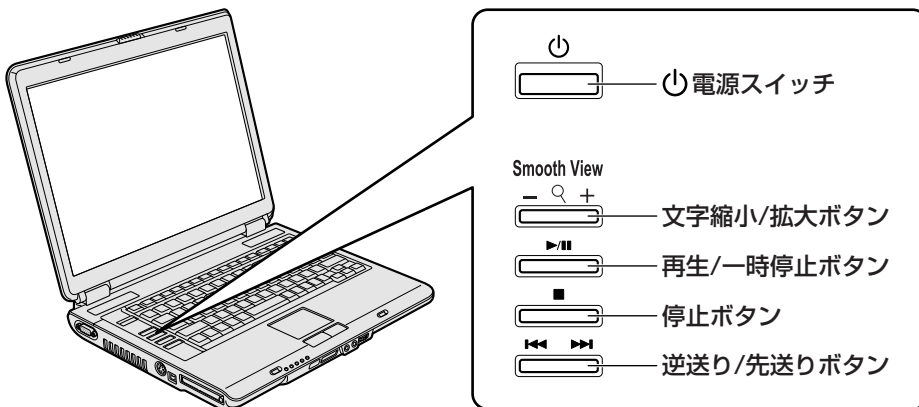
お願い 外観図について

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

1 前面図

1 システムインジケータ

システムインジケータは、点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。

	DC IN LED	電源コード接続の状態 参照 『準備しよう 1章 4-3- 電源に関する表示』
	Power LED	電源の状態 参照 『準備しよう 1章 4-3- 電源に関する表示』
	Battery LED	バッテリの状態 参照 P.57
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている 参照 P.24
	ブリッジメディアLED	ブリッジメディアスロットにアクセスしている 参照 P.30

2 電源スイッチ・ボタン

パソコンでDVD-Videoを見たり音楽を聴いたりするとき、ボタンを使用すると簡単に操作することができます。

ボタンの操作方法

操作するボタンを、指で押してください。押したボタンに割り当てられている機能を実行します。ボタンに割り当てられている機能は「TOSHIBA Flash Cards」で変更できます。詳しくは、《おたすけナビ（検索）：ボタンに割り当てるアプリケーションを変更する》を参照してください。

ボタン機能

それぞれのボタンの機能は、《おたすけナビ（検索）：ボタン操作一覧》を参照してください。

2 背面図

3 裏面図

通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
ふさがないでください。

⚠警告

- **必ず、本製品付属のACアダプタを使用すること**
  本製品付属以外のACアダプタを使用すると電圧や（＋）（－）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **パソコン本体にACアダプタを接続する場合、必ず『準備しよう』に記載してある順番を守って接続すること**
  順番を守らないと、ACアダプタのDC出力プラグが帯電し、感電または軽いケガをする場合があります。
  また、ACアダプタのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠注意

- **お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くこと**
  電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

お願い　機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」を確認してください。

❏ 電源コードの仕様

本製品に付属の電源コードは、日本の規格にのみ準拠しています。
使用できる電圧（AC）は、100Vです。
必ずAC100Vのコンセントで使用してください。
＊取得規格は、電気用品安全法です。

その他の地域で使用する場合は、当該国・地域の法令・安全規格に適合した電源コードを購入してください。

❏ ACアダプタの仕様

パソコン本体裏面の、型番が記載してあるラベルにDC電源の仕様が記載されています。ラベルの「定格電圧」「定格電流」と同じ数値が記載されている、付属のACアダプタをご使用ください。

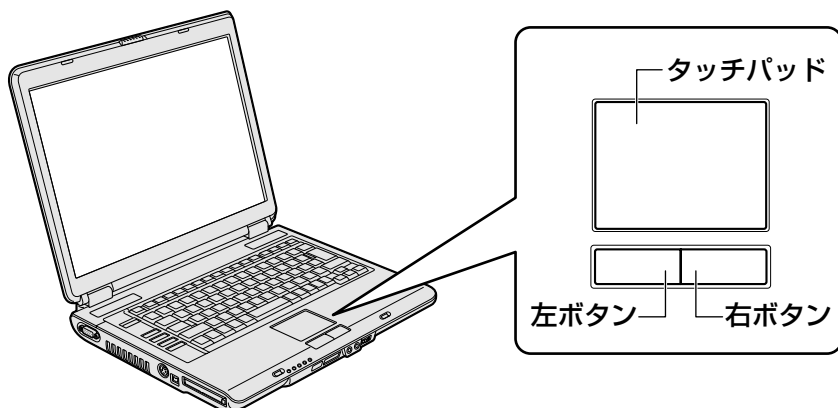
2 ポインタを動かす／文字キーを使う
ータッチパッドとマウスとキーボードー

1 タッチパッドで操作する

電源を入れてWindowsを起動すると、パソコンのディスプレイに が表示されます。この矢印を「ポインタ」といい、操作の開始位置を示しています。この「ポインタ」を動かしながらパソコンを操作していきます。
パソコン本体には、「ポインタ」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。

タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使ってポインタを動かし、パソコンを操作してみましょう。ここでは、タッチパッドと左ボタン／右ボタンの基本的な機能を説明します。

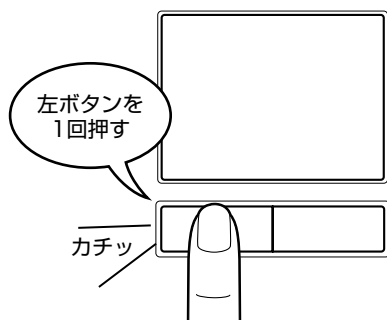
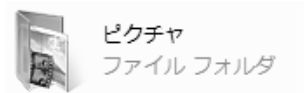
お願い タッチパッドの操作にあたって

- あらかじめ「付録 1 - 1 - タッチパッドの操作にあたって」を確認してください。

1 矢印（ポインタ）を動かす

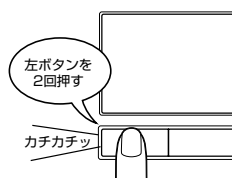
操作を始める位置を示す矢印（ポインタ）。タッチパッドに置いた指の方向に合わせて動きます。指を上下左右に動かしてみましょう。
指がタッチパッドの端まできてしまい、それ以上動かせなくなったときは、いったん指をはなしてから、タッチパッドの中央に置き直して操作します。

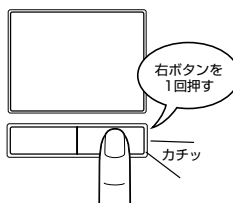
（画面）

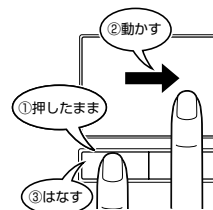
2 アイコンを選択する

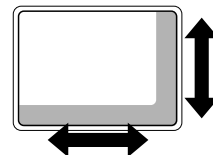
アイコン、文字などを選択するには、ポインタを目的のアイコンや文字などの位置に合わせて、左ボタンを1回押します（クリック）。
アイコンなどを選択すると、色が変わります。

役立つ操作集

ダブルクリックする

ダブルクリックすると、ファイルを開いたりアプリケーションを起動できます。
ポインタを目的の位置に合わせて、左ボタンをすばやく2回押します。

右クリックする

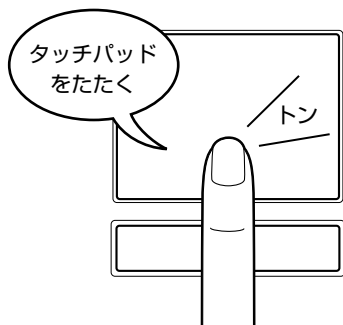
右クリックすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをクリックして選択できます。ポインタを目的の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。

ドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。ポインタを目的の位置に合わせて、左ボタンを押したまま①、別の指でタッチパッドを使ってポインタを動かします②（ドラッグ）。ポインタが目的の位置に移動したら、左ボタンから指をはなします③（ドロップ）。

スクロールする

スクロールとは画面を動かすことです。
スクロールすると画面に表示しきれない部分を見ることができます。
タッチパッドの右辺に指を置いて上下に動かすと、上下にスクロールします。
タッチパッドの下辺に指を置いて左右に動かすと、左右にスクロールします。

3 慣れてきたら

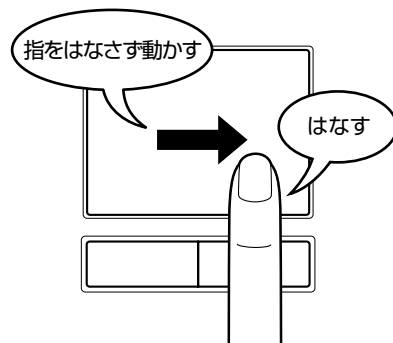
慣れてきたら、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

❏ クリック／ダブルクリック

タッチパッドを1回軽くたたくとクリック、2回たたくとダブルクリックができます。

❏ ドラッグアンドドロップ

タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指をはなさずに目的の位置まで移動し、指をはなします。

タッチパッドをたたく

トン

タッチパッドの設定変更については、「おたすけナビ」を確認してください。

2 光るタッチパッドを使う

＊光るタッチパッド搭載モデルのみ

光るタッチパッドには次のようなアイコンが描かれていて、タッチパッドからさまざまなアプリケーションを簡単に起動することができます。

光るタッチパッドからさまざまなアプリケーションを起動できる状態を、「ボタンモード」と呼びます。それに対して、通常のタッチパッド操作ができる状態を「カーソルモード」と呼びます。購入時の設定では、ボタンモードにしているとき、通常のタッチパッド操作はできません。

各ボタンの機能は、次のようになっています。

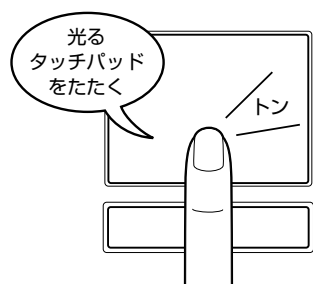
ボタン名	機　能
メール起動ボタン	メールソフトを起動します。 Office搭載モデルの場合：「Microsoft Office Outlook」 Officeが搭載されていないモデルの場合：「Windows メール」
インターネット起動ボタン	「Internet Explorer」を起動します。
音楽再生ボタン	「BeatJam」の［Musicライブラリ］パネルが表示され、パソコン内にある音楽ファイルを再生できます。 参照 「BeatJam」の操作 『映像と音楽を楽しもう 3-1 BeatJamを使う』
できるdynabook起動ボタン	「できるdynabook」を起動します。
アプリケーション起動ボタン	ボタンモードで起動したいアプリケーションを、自由に設定できます。 参照 設定方法について 《おたすけナビ：（検索）アプリケーションを割り当てる》
ボタンモード/カーソルモード切替ボタン	ボタンモードとカーソルモードを切り替えます。
ボリュームコントロール	マーク側へ指をすべらせると音量が大きくなり、マーク側へ指をすべらせると音量が小さくなります。

1 ボタンモードに切り替えて操作する

ボタンモードに切り替えるには、次の操作を実行してください。

1 ボタンモード/カーソルモード切替ボタンをタッピングする

■タッピングとは

光るタッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。

光るタッチパッドを軽くたたき、すぐ指をはなしてください。

タッチパッドに描かれた各ボタンのアイコンが青く点灯し、ボタンモードに切り替わります。
ボタンをタッピングして、アプリケーションを起動してください。カーソルモードに戻ります。

■ボリュームコントロールをするには

ボリュームコントロール（音量調整）をする場合は、タッピングではなく指をすべらせるようにしてください。
音量大（🔊）、音量小（🔈）それぞれ希望の方向に指を軽くなでるようにすべらせて、はなしてください。
ボリュームコントロールの場合、操作をしても自動的にカーソルモードには戻りません。カーソルモードに切り替えたい場合は、ボタンモード／カーソルモード切替ボタンをタッピングしてください。
アプリケーション起動ボタンには、任意のアプリケーションを自由に割り当てることができます。詳しくは「おたすけナビ」を参照してください。

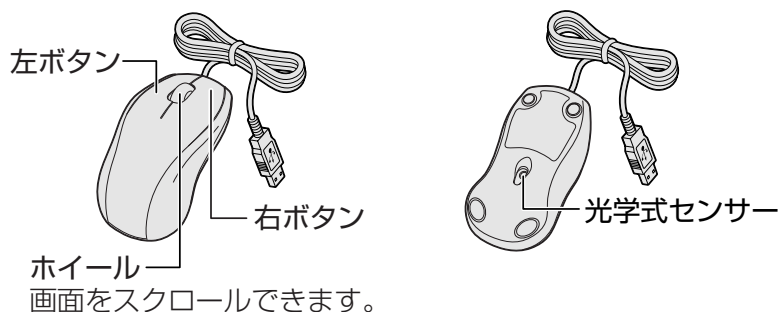
3 マウスの使いかた

マウスはタッチパッドの左ボタン／右ボタンと同じ働きをします。
モデルによっては、次のUSB対応の光学式マウスが付属しているものがあります。USBコネクタに接続して使用してください。
マウスは、Windowsのセットアップが終わった後に接続してください。

参照 マウスの接続について「3章 3 USB対応機器を使う」

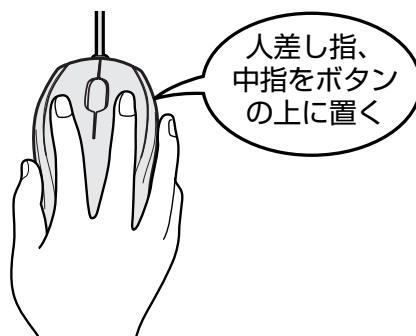
マウスを使ってポインタを動かしたり、クリック、ダブルクリックなどをしてみましょう。

❑ 横スクロール機能付光学式マウス

＊横スクロール機能付光学式マウス付属モデルのみ

⚠ 注 意

- マウス底面の光学式センサーの赤い光を直接見ないこと
  目を痛めるおそれがあります。

マウスの持ちかた

マウスを手のひらで包むように持ち、人さし指と中指を各ボタンの上に置きます。

マウスをうまく動かすポイント

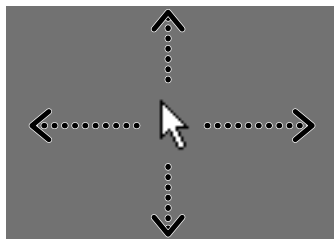
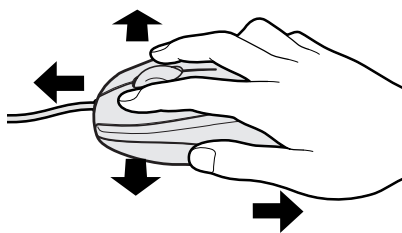
マウスを動かす場所がなくなったときは、いったんマウスを持ち上げ、マウスを動かせる位置に戻します。

- **マウスの使用場所**

  マウスは平らな場所で使用してください。

  グリッドなどの細かい模様のあるもの、または専用のマウスパッド上での使用を推奨します。また、ガラスなどの透明な素材、鏡や光沢のあるビニールなどの光を反射する素材の上では使用しないでください。光学式センサーがうまく動作しない場合があります。

1 ポインタを動かす

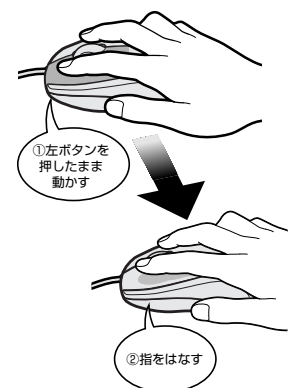
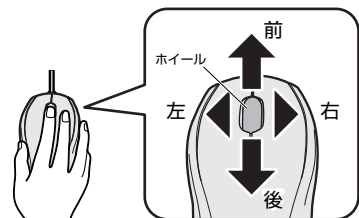
滑らせるようにしてマウスを上下左右に動かします。ポインタがマウスの動きに合わせて動きます。

2 アイコンを選択する

ポインタを目的の位置に合わせて、左ボタンを1回押します（クリック）。

役立つ操作集

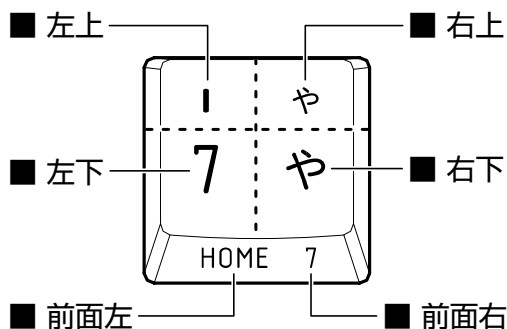
ダブルクリックする
ポインタを目的の位置に合わせて、左ボタンをすばやく2回押すことです。
ダブルクリックするときは、マウスが動かないように固定した状態でボタンを押してください。

右クリックする
ポインタを目的の位置に合わせて、右ボタンを1回押すことです。

ドラッグアンドドロップする
ポインタを目的の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、マウスを動かします①（ドラッグ）。
ポインタが目的の位置に移動したら、ボタンから指をはなします②（ドロップ）。

スクロールする
ホイールを前後にまわしたり、左右に傾けたりすると、画面をスクロールすることができます。

メモ　マウスについて

● アプリケーションによっては、ホイールを使ったスクロールに対応していない場合があります。

4 キーボードの文字キーの使いかた

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。文字キーに印刷されている2～6種類の文字や記号は、キーボードの文字入力の状態によって変わります。

左上	SHIFT キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。
左下	他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの小文字が入力できます。大文字ロック状態にすると、大文字も入力できます。
右上	かな入力ができる状態で SHIFT キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音（そくおん）（小さい「っ」）、拗音（ようおん）（小さい「ゃ、ゅ、ょ」）が入力できます。
右下	かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。
前面左	アロー状態のときに押すと、カーソル制御キーとして使えます。
前面右	数字ロック状態のときに押すと、テンキーとして使えます。

キーボードを使った文字や記号の入力操作の詳細については、『アシストシート』、《できるdynabook レッスン12（第2章）キーボードで文字を入力するには》、《おたすけナビ（検索）：［FN］キーを使った特殊機能キー》を参照してください。

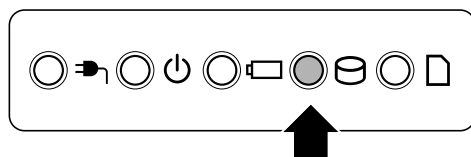
3 ハードディスクドライブ

本製品には、ハードディスクドライブが1台内蔵されています。
内蔵されているハードディスクドライブは、取りはずしできません。
PCカードタイプ（TYPE Ⅱ）や、USB接続型のハードディスクなどを使用して記憶容量を増やすことができます。

お願い **操作にあたって**

- あらかじめ「付録 1-2 ハードディスクドライブについて」を確認してください。

ハードディスクドライブに関する表示

内蔵のハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk LEDが点灯します。

PCカードタイプやUSB接続などの増設ハードディスクとのデータのやり取りでは、Disk LEDは点灯しません。

ハードディスクに記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証できません。
万一故障した場合に備え、バックアップをとることを推奨します。

4 CDやDVDを使う
－ ドライブ －

本製品には、DVDスーパーマルチドライブが1台内蔵されています。
ドライブには次のマークが入っています。

＊マークの位置や並び順は異なる場合があります。

DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R＊1、DVD+RW、DVD+R＊2、CD-RW、CD-Rの読み出し／書き込み機能と、DVD-ROM、CD-ROMの読み出し機能を搭載したドライブです。

＊1 本書では、「DVD-R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-R DL（Dual Layer DVD-R）を含みます。
＊2 本書では、「DVD+R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD+R DL（DVD+R Double Layer）を含みます。

『安心してお使いいただくために』に、CD／DVDを使用するときに守ってほしいことが記述されています。
CD／DVDを使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。

1 使えるメディアを確認しよう

使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。

○：使用できる　×：使用できない

	読み出し＊1	書き込み回数
CD-ROM	○	×
CD-R	○	1回
CD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊2
DVD-ROM	○	×
DVD-R	○＊3	1回
DVD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊2
DVD+R	○＊3	1回
DVD+RW	○	繰り返し書き換え可能＊2
DVD-RAM	○	繰り返し書き換え可能＊2

＊1 対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。
＊2 実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。
＊3 メディアの状態や書き込み方法により、読み出しできない場合があります。DVD-R DLのみ追記されたデータは読み出しできません。

使用できるCD／DVDの詳細と、書き込み速度については、『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

メモ　書き込みできるアプリケーション

- 書き込みに使用できる、本製品に添付のアプリケーションは次のとおりです。
  - TOSHIBA Disc Creator（トウシバ ディスク クリエイタ）

    参照 『映像と音楽を楽しもう』、《おたすけナビ（検索）：CD／DVDを作りたい》
  - Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA（ユーリード ディーブイディー ムービー ライタ フォー トウシバ）

    参照 『映像と音楽を楽しもう 2 映像を編集してDVDに残す』、「DVD MovieWriter」のヘルプ
- メディアにデータを書き込むとき、メディアの状態やデータの内容、またはパソコンの使用環境によって、実行速度は異なります。

2 CD／DVDを使うとき（セット）

CD／DVDは、パソコン本体に装備されているドライブにセットして使用します。

お願い　CD／DVDの操作にあたって

- あらかじめ、「付録 1-3 CDやDVDについて」、「付録 2-1 使えるCDを確認しよう」、「付録 2-2 使えるDVDを確認しよう」を確認してください。

メモ　セットする前に確認しよう

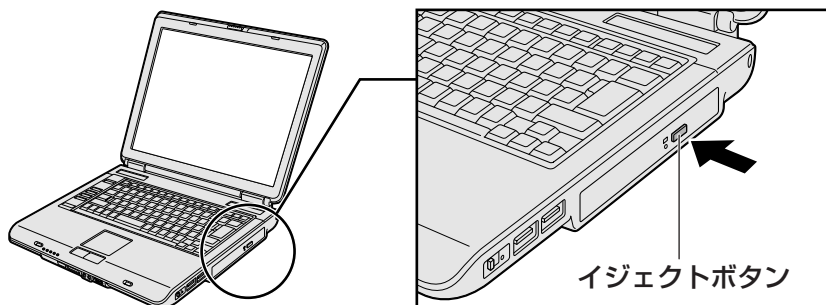
- 傷ついたり汚れのひどいCD／DVDの場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れをふきとってから再生してください。
- CD／DVDの特性やCD／DVDへの書き込み時の特性によって、読み出せない場合もあります。

ドライブに関する表示

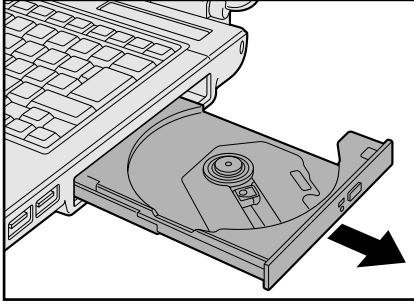
パソコンの電源が入っていて、ドライブが動作しているときは、ディスクLEDが点灯します。

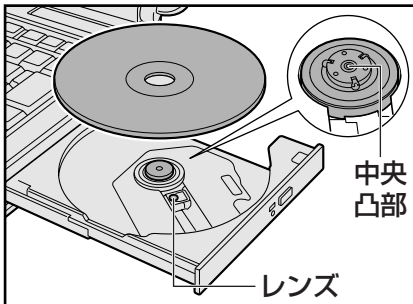
1 パソコン本体の電源を入れる

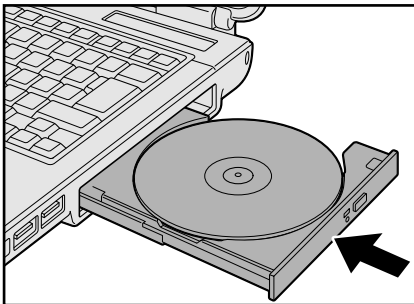
Windowsが起動します。

2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手をはなしてください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

※ 搭載されているドライブによってイジェクトボタンの位置は異なります。

3 ディスクトレイを引き出す

CD／DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 文字が書いてある面を上にして、CD／DVDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部に合わせ、上から押さえてセットする

「カチッ」と音がして、セットされていることを確認してください。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す

3 CD／DVDを使い終わったとき（取り出し）

1 パソコン本体の電源が入っているか確認する

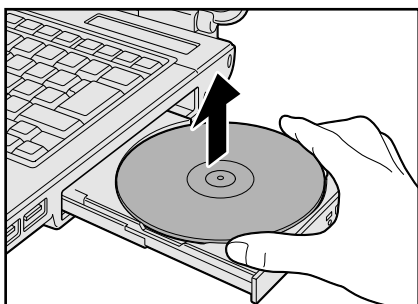
電源が入っていない場合は電源を入れてください。

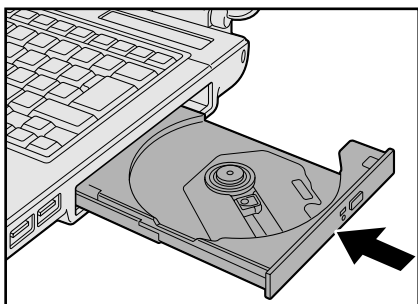
2 イジェクトボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。

3 ディスクトレイを引き出す

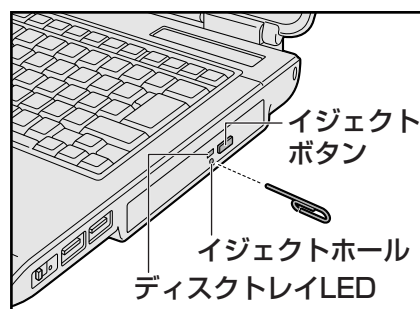
CD／DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CD／DVDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す

CD／DVDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す

ディスクトレイが出てこない場合

電源を切っているときは、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。電源が入らない場合は、イジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してください。

次の場合は、電源が入っていても、イジェクトボタンを押した後すぐにディスクトレイは出てきません。ディスクトレイLEDの点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。

- 電源を入れた直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- 再起動した直後
- ドライブ関係のLEDが点灯しているとき

※ 搭載されているドライブによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。

5 画面を見やすく調整する
－ ディスプレイ －

本製品は表示装置としてTFTカラー液晶ディスプレイ（1280×800ドット）を内蔵しています。ドットは画素数を表します。
テレビや外部ディスプレイを接続して使用することもできます。

1 画面の明るさを調整する

本体液晶ディスプレイの明るさ（輝度）を調整します。輝度は「1～8」の8段階で設定ができます。

❏ 輝度の調整方法

FN＋F6：FNキーを押したまま、F6キーを押すたびに本体液晶ディスプレイの輝度が1段階ずつ下がります。
表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。

FN＋F7：FNキーを押したまま、F7キーを押すたびに本体液晶ディスプレイの輝度が1段階ずつ上がります。
表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。

6 いろいろなメディアカードを使う
ー ブリッジメディアスロット ー

本製品では次のメディアをブリッジメディアスロットに差し込んで、データの読み出しや書き込みができます。

- SDメモリカード
- メモリースティック
- マルチメディアカード
- メモリースティックPRO
- xD-ピクチャーカード

1 メディアカードを使う前に

お願い　メディアカードの使用にあたって

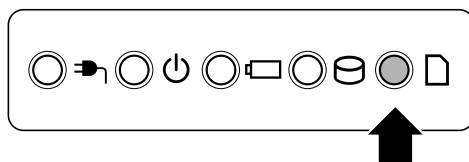
- あらかじめ「付録 2-3 メディアカードを使う前に」を確認してください。

新品のメディアカードは、メディアカードの規格に合わせてフォーマットされた状態で販売されています。
フォーマットとは、メディアカードにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、メディアカードを使えるようにすることです。
再フォーマットをする場合は、メディアカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤなど）で行ってください。

SDメモリカードでは、再フォーマットをする場合に「東芝SDメモリカードフォーマット」も使用できます。
「東芝SDメモリカードフォーマット」については、《おたすけナビ（検索）：SDメモリカードをフォーマットする》をご覧ください。

2 メディアのセットと取り出し

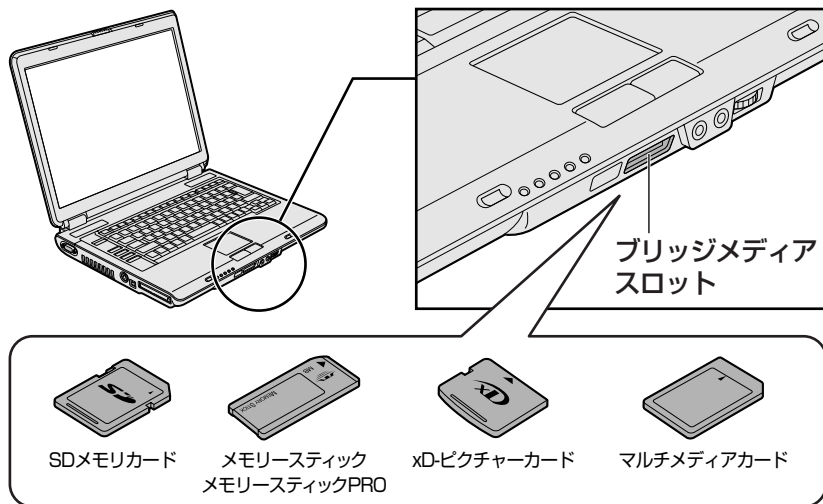
ブリッジメディアスロットに関する表示

パソコン本体に電源が入っている場合、ブリッジメディアスロットに挿入したメディアとデータをやり取りしているときは、ブリッジメディア LEDが点灯します。

お願い　操作にあたって

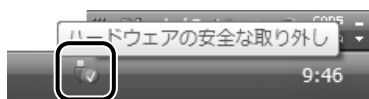
- あらかじめ、「付録 2-3-1 メディアカードの操作にあたって」を確認してください。

1 セットする

1 メディアの表裏を確認し、表を上にして、ブリッジメディアスロットに挿入する

奥まで挿入します。

2 取り出す

1 メディアの使用を停止する

①通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）をクリックする

②表示されたメニューから［XXXX（取りはずすメディア）- ドライブを安全に取り外します］をクリックする

XXXX 部分は、メディアの種類によって異なります。
SDメモリカード：SD Memory CardまたはSecure Degital Storage Drive
メモリースティック：MemoryStick0 Device
メモリースティックPRO：MemoryStickPro0 Device
xD-ピクチャーカード：XD0 Device
マルチメディアカード：MMC 1 Device

③「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックする

メディアに保存しているファイルなどを開いていると、取りはずしができません。ファイルを閉じてから、操作をやり直してください。

2 メディアを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

3 セットしたメディアの内容を見る

著作権保護*1を必要としない画像や音声、テキストなどの一般的なファイルは、次の手順で見ることができます。

＊1 SDメモリカード、メモリースティックの場合

1 ［スタート］ボタン（ ）→［コンピュータ］をクリックする

［コンピュータ］画面が表示されます。

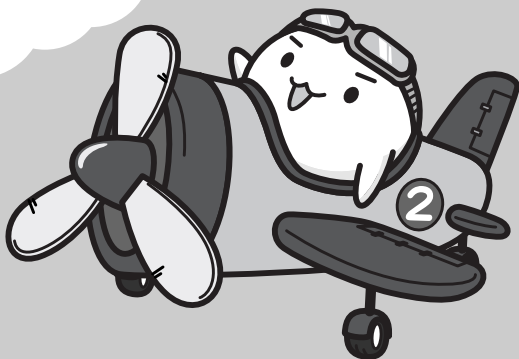
2 メディアのアイコンをダブルクリックする

SDメモリカード ：セキュリティで保護された記録域デバイス
メモリースティック ：Memory Stick
メモリースティックPRO：リムーバブルディスクまたはMemoryStick PRO
xD-ピクチャーカード ：リムーバブルディスクまたはXD Pictureカード
マルチメディアカード ：リムーバブルディスクまたはMMCカード

セットしたメディアの内容が表示されます。

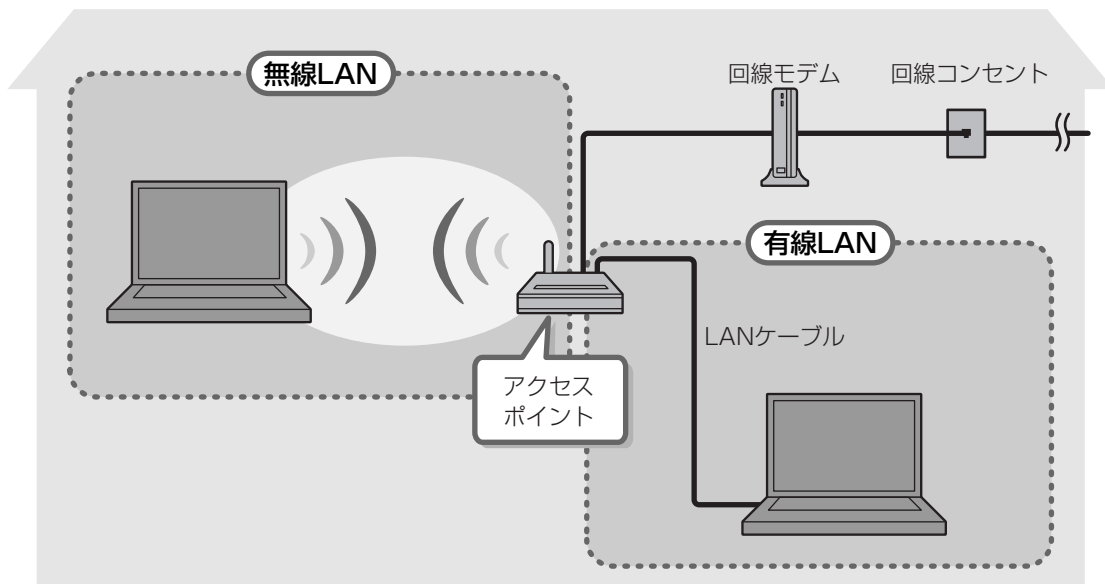
2章

ネットワークの世界へ

本製品に内蔵されている通信に関する機能を説明しています。
ブロードバンドでインターネットに接続する方法や、他のパソコンと通信する方法について紹介します。

1　家庭内ネットワークで広がる世界

家族がそれぞれ別のパソコンで1つのプリンタやADSLモデムでインターネット接続を使いたいときは、ネットワークを使うと便利です。

1　LAN接続はこんなに便利

家族がそれぞれ自分専用のパソコンを持っていて、家庭内に複数のパソコンがあったり、ひとりで複数のパソコンを持っている場合には、LAN（Local Area Network）を使うと便利です。
LAN機能にはケーブルを使った有線LANと、ケーブルを使わない無線LANがあります。

（接続例）

■有線LAN

有線LANの機能やLANケーブルの接続については、『準備しよう 3章 1-1 ブロードバンドで接続する』を参照してください。

■無線LAN

無線LANとは、パソコンにLANケーブルを接続しない状態で使用できる、ワイヤレスのLAN機能のことです。モデムやルータの位置とは関係なく、無線通信のエリア内であればあらゆる場所からコンピュータをLANシステムに接続できます。
無線LANアクセスポイント（市販）を使用することによって、パソコンからワイヤレスでネットワーク環境を実現できます。

ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワーク機器の接続先やネットワークの詳しい設定については、［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックして、『Windowsヘルプとサポート』を参照してください。
また、会社や学校で使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

2 ワイヤレス（無線）LANを使う

1 無線LANモジュールの確認

本書では、内蔵された無線LANモジュールの種類によって説明が異なる項目があります。
使用しているパソコンに合った説明をご覧ください。
使用しているパソコンに内蔵された無線LANモジュールの種類は、「ConfigFree（コンフィグフリー）」を使って確認できます。

参照 《おたすけナビ（検索）：ネットワーク設定に便利な操作》

1 通知領域の［ConfigFree］アイコン（ ）をクリックする

2 表示されたメニューから［デバイス］→［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［デバイス名］でアダプタ名を確認する

アダプタ名が示すモジュールは、それぞれ次のようになります。

- **「Atheros AR5006EX Wireless Network Adapter」の場合**
  IEEE802.11a（J52/W52/W53）、IEEE802.11bおよびIEEE802.11gに対応したモジュールです。このモジュールを、「Atheros a/b/gモジュール」または「Atheros IEEE802.11abgモジュール」と呼びます。
- **「Atheros AR5006EG Wireless Network Adapter」の場合**
  IEEE802.11bおよびIEEE802.11gに対応したモジュールです。
  このモジュールを、「Atheros b/gモジュール」または「Atheros IEEE802.11bgモジュール」と呼びます。

その他の本製品の無線LANモジュールの仕様については、「付録 4-1 無線LANの概要」と『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

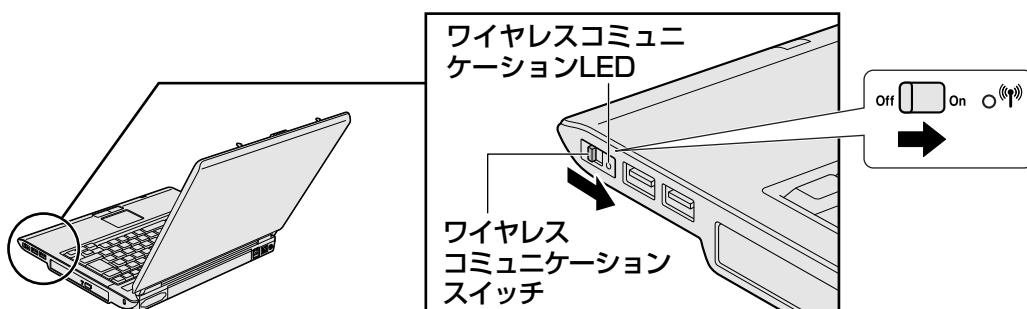
お願い **無線LANのご使用にあたって**

- あらかじめ、「付録 1-4 無線LANについて」を確認してください。
  セキュリティに関しての注意事項や使用上の注意事項を説明しています。

2 無線LANを使ってみよう

⚠警 告

- **パソコン本体を航空機に持ち込む場合、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオフ側にし、必ずパソコン本体の電源を切ること**
  ワイヤレスコミュニケーションスイッチをオンにしたまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器に影響を与える場合があります。
  また、航空機内でのパソコンのご使用は、必ず航空会社の指示に従ってください。

1 本体左側面にある、ワイヤレスコミュニケーションスイッチをOn側にスライドする

ワイヤレスコミュニケーション LEDが点灯します。

以降の無線の設定方法には、次の2種類があります。

- 「ConfigFree」を使う
- Windows標準機能を使う

「ConfigFree」を使って設定する場合は、『dynabook 無線LANらくらく設定シート』を参照し、「おたすけナビ」の「無線LANらくらく設定」を使うと接続設定手順が確認できて便利です。
また、Windows標準機能を使って設定する場合は、《できるdynabook レッスン25（第3章）無線LANでインターネットに接続するには》を参照してください。

メモ ConfigFree（コンフィグフリー）

- 本製品に用意されている「ConfigFree」を使うと、近隣の無線LANデバイスを検出したり、LANケーブルをはずすと自動的に無線LANに切り替えるなど、ネットワーク設定に便利な機能が使えます。

参照 ConfigFreeの設定方法《おたすけナビ（検索）：ネットワーク設定に便利な操作》

3章

周辺機器を使って機能を広げよう

パソコンでできることをさらに広げたい。
そのためには周辺機器を接続して、機能を拡張しましょう。
本製品に取り付けられるさまざまな周辺機器の取り付けかたや各種設定、取り扱いについて説明しています。

1 周辺機器を使う前に

周辺機器とは、パソコンに接続して使う機器のことで、デバイスともいいます。周辺機器を使うと、パソコンの性能を高めたり、パソコンが持っていない機能を広げることができます。
周辺機器には、パソコン本体の周囲にあるコネクタや端子、スロットにつなぐ外付け方式のものと、パソコンのカバーを開けて、パソコンの中に取り付ける内蔵方式のものがあります。

■内蔵方式のもの

- メモリ
- バッテリ

上記以外は、規格にあった周辺機器をご利用ください。
周辺機器によっては、インタフェースなどの規格が異なることがあります。インタフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子、スロットの形状などの規格のことです。
購入される際には、その周辺機器で何をしたいのか、目的をはっきりさせて、その目的にあった周辺機器をお選びください。そして、本製品に対応しているかどうかを、その周辺機器のメーカに確認したうえで、ご購入ください。

参照 コネクタの仕様について《おたすけナビ（検索）：インタフェース仕様》

お願い 周辺機器の取り付け／取りはずしにあたって

- あらかじめ、「付録 1-5 周辺機器について」を確認してください。

本製品で使用できるおもな周辺機器は、次のとおりです。

- メモリ
  参照 メモリの増設「本章 2 パソコンの動作をスムーズにする」
- USB対応機器
  参照 USB対応機器「本章 3 USB対応機器を使う」
- i.LINK（IEEE1394）対応機器
  参照 i.LINK（IEEE1394）対応機器《おたすけナビ（検索）：i.LINK（IEEE1394）対応機器を使う》
- テレビ
  参照 テレビの接続「本章 4 パソコンの画面をテレビに映す」
- 外部ディスプレイ
  参照 外部ディスプレイの接続「本章 5 パソコンの画面を外部ディスプレイに映す」
- マイクロホン
  参照 マイクロホンの接続《おたすけナビ（検索）：マイクロホンを使う》
- ヘッドホン
  参照 ヘッドホンの接続《おたすけナビ（検索）：ヘッドホンを使う》
- PCカード
  参照 PCカード《おたすけナビ（検索）：PCカードを使う》

2 パソコンの動作をスムーズにする
－ メモリの増設 －

増設メモリスロットに増設メモリを取り付けることができます。
ご購入のモデルによって、あらかじめ取り付けられているメモリの容量が異なります。
メモリが取り付けられていないスロットに別売りの増設メモリを取り付けたり、取り付けられているメモリを別売りの増設メモリと付け換えることができます。
増設メモリは、容量によって次の3タイプがあります。

1GB　　：PAME1003
512MB　：PAME5123
256MB　：PAME2563

取り付けることのできるメモリの容量は、2つのスロットを合わせて最大2GBまでです。

⚠警 告

- **本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないこと**
  内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると、感電ややけどのおそれがあります。

⚠注 意

- **ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないこと**
  火災、感電の原因となります。万一、機器内部に入った場合は、バッテリを取りはずし、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- **増設メモリの取り付け／取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリパックを取りはずしてから作業を行うこと**
  電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- **電源を切った直後に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないこと**
  内部が高温になっており、やけどのおそれがあります。電源を切った後30分以上たってから行ってください。

お願い　**メモリの増設の操作にあたって**

- あらかじめ、「付録 1 - 5 - メモリの増設の操作にあたって」を確認してください。

増設メモリは、東芝製オプションを使用してください。それ以外のメモリを増設すると、起動しなくなったり、動作が不安定になる場合があります。

メモ　**デュアルチャネルについて**

デュアルチャネルに対応したモデルでは、同じ仕様で同じ容量のメモリを、それぞれスロットA、スロットBに装着すると、2枚のメモリに効率よくアクセスすることができます。
ご購入いただいたモデルが、デュアルチャネルに対応しているかどうかは、別紙の『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』でご確認ください。

1 メモリを増設する

あらかじめ取り付けられているメモリを交換したい場合は、先にメモリの取りはずしを行ってください。

参照 「本節 2 メモリを取りはずす」

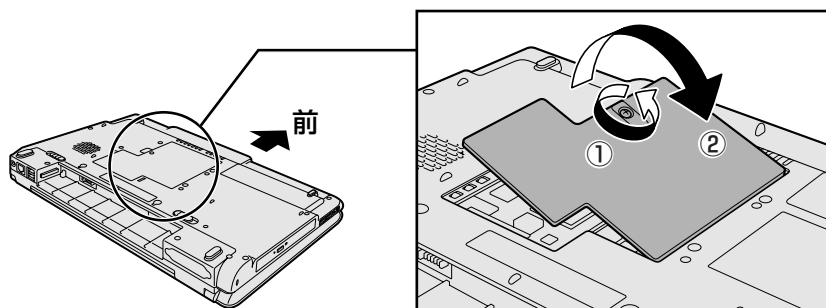
1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

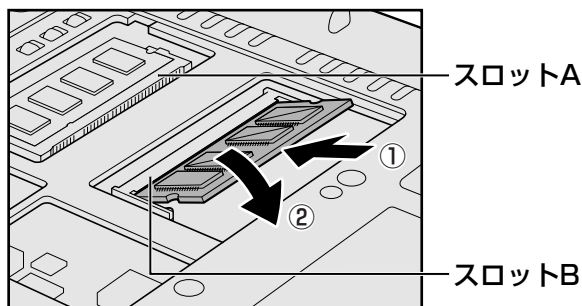
参照 電源の切りかた『準備しよう 1章 4-2 電源を切る』

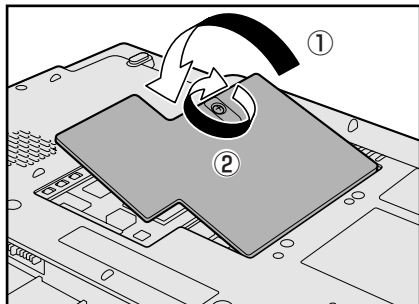
2 パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリパックを取りはずす

参照 バッテリパックの取りはずし「4章 1-3 バッテリパックを交換する」

4 増設メモリカバーのネジ1本をゆるめ①、カバーをはずす②

増設メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

5 増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し①、固定するまで増設メモリを倒す②

増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかかりにくいときは、ペン先などで広げてください。
このとき、増設メモリの両端（切れ込みが入っている部分）を持って差し込むようにしてください。

6 **増設メモリカバーをつけて①、手順 4 でゆるめたネジ1本をとめる②**

増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

7 **バッテリパックを取り付ける**

参照 バッテリパックの取り付け「4章 1-3 バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

参照 メモリ容量の確認について「本節 3 メモリ容量を確認する」

2 メモリを取りはずす

1 **データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る**

参照 電源の切りかた『準備しよう 1章 4-2 電源を切る』

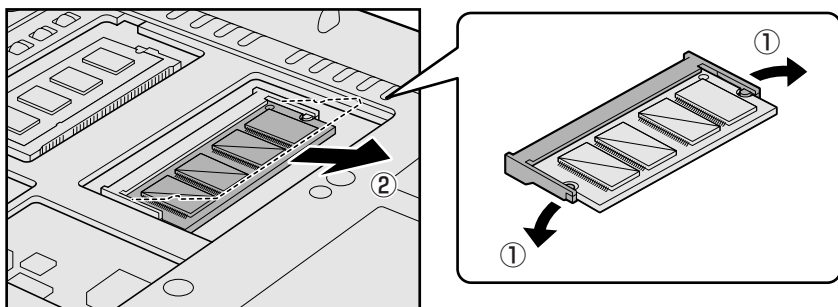
2 **パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす**

3 **ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリパックを取りはずす**

参照 バッテリパックの取りはずし「4章 1-3 バッテリパックを交換する」

4 **増設メモリカバーのネジ1本をゆるめ、カバーをはずす**

増設メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

5 **増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開き①、増設メモリをパソコン本体から取りはずす②**

斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。

6 **増設メモリカバーをつけて、手順 4 でゆるめたネジ1本をとめる**

増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

7 **バッテリパックを取り付ける**

参照 バッテリパックの取り付け「4章 1-3 バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

3 メモリ容量を確認する

メモリ容量は「東芝PC診断ツール」で確認することができます。

1 **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［PC診断ツール］をクリックする**

2 **［基本情報］タブの［物理メモリ］の数値を確認する**

3 USB対応機器を使う

USB(ユーエスビー)対応機器は、電源を入れたままの取り付け／取りはずしができ、プラグアンドプレイに対応しています。
USB対応機器には次のようなものがあります。

- USB対応マウス
- USB対応プリンタ
- USB対応スキャナ
- USBフラッシュメモリなど

本製品のUSBコネクタにはUSB2.0対応機器とUSB1.1対応機器を取り付けることができます。
USB対応機器の詳細については、『USB対応機器に付属の説明書』を確認してください。

お願い USB対応機器の操作にあたって

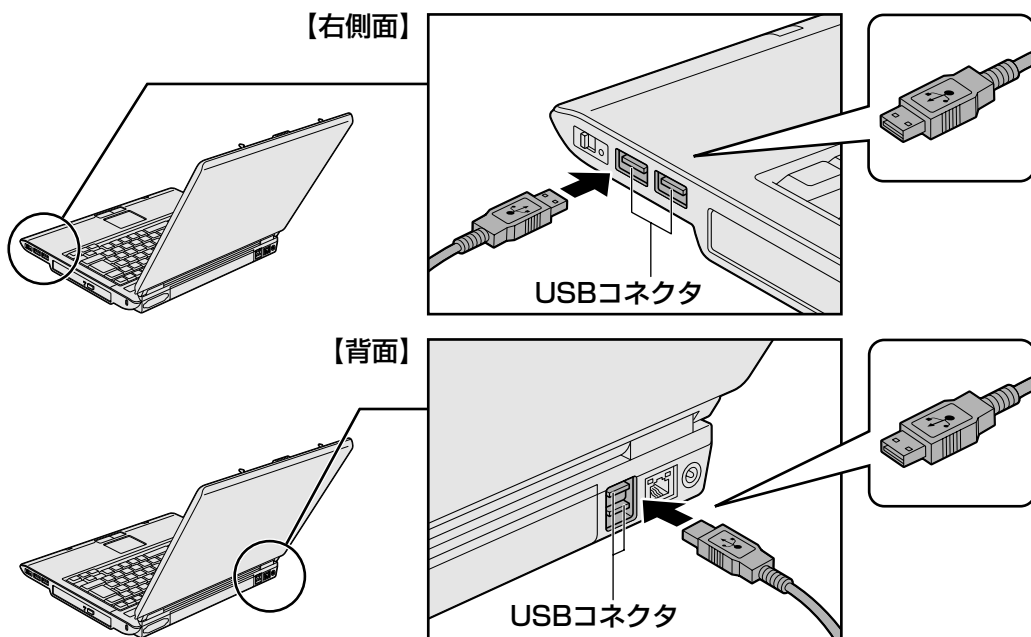
- あらかじめ、「付録 1 - 5 - USB対応機器の操作にあたって」を確認してください。

1 取り付け

1 USBケーブルのプラグをUSB対応機器に差し込む

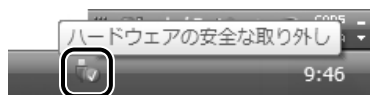
この手順が必要ない機器もあります。USB対応機器についての詳細は、『USB対応機器に付属の説明書』を確認してください。

2 USBケーブルのもう一方のプラグをパソコン本体のUSBコネクタに差し込む

プラグの向きを確認して差し込んでください。

2 取りはずし

1 USB対応機器の使用を停止する

①通知領域の［ハードウェアの安全な取り外し］アイコン（ ）をクリックする

＊ 通知領域にこのアイコン（ ）が表示されないUSB対応機器は、次の手順は必要ありません。手順 2 に進んでください。

②表示されたメニューから［XXXX（取りはずすUSB対応機器）を安全に取り外します］をクリックする

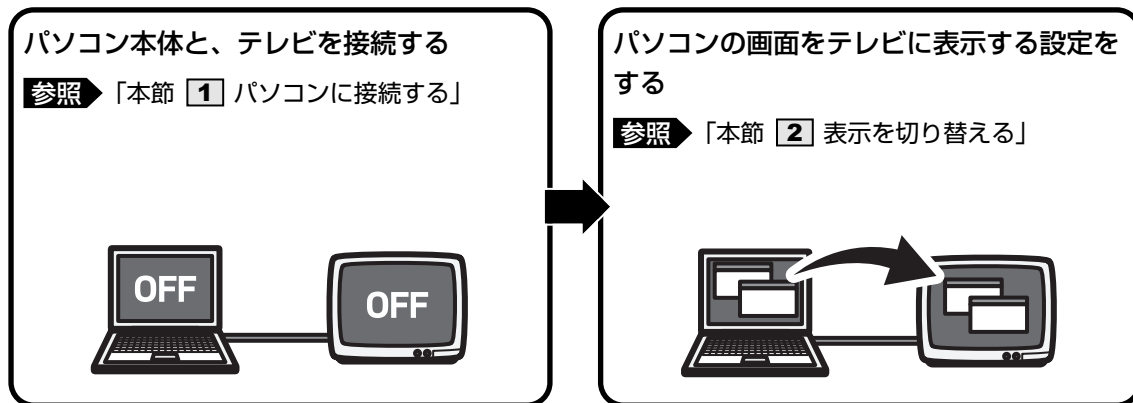
③「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックする

2 パソコン本体とUSB対応機器に差し込んであるUSBケーブルを抜く

4 パソコンの画面をテレビに映す
－ テレビの接続 －

本製品のS-Video(エスビデオ)出力コネクタとテレビをケーブルで接続すると、テレビ画面にWindowsのデスクトップ画面を表示させることができます。

■パソコン上で再生中のDVDを、テレビに表示する

「WinDVD」でのDVD再生など、パソコンで視聴／再生している映像を、ご家庭のテレビにも表示させることができます。

メモ

- テレビの代わりに、外部ディスプレイを接続して表示することもできます。

■接続の前に

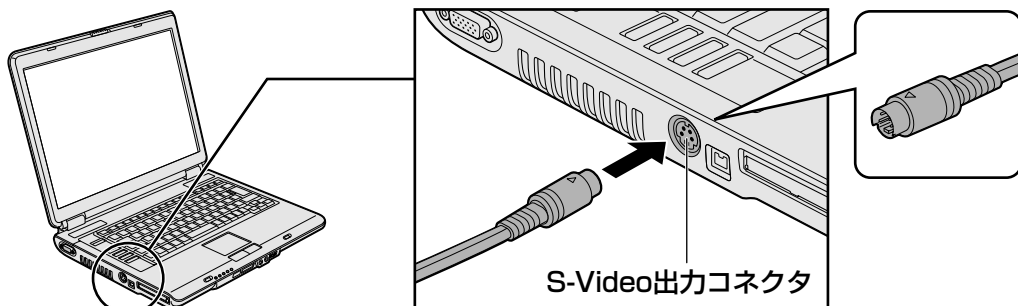
テレビを接続するときは、『テレビに付属の取扱説明書』もあわせて確認してください。
S映像入力端子があるテレビを接続できます。
接続するS端子ケーブルは、市販の4ピンコネクタのケーブルを使用してください。

1 パソコンに接続する

お願い テレビ接続の操作にあたって

- あらかじめ「付録 1 - 5 - テレビ接続の操作にあたって」を確認してください。

テレビとパソコン本体の電源を切った状態で接続してください。

1 S端子ケーブルのプラグをパソコン本体のS-Video出力コネクタに差し込む

2 S端子ケーブルのもう一方のプラグをテレビのS映像入力端子に差し込む

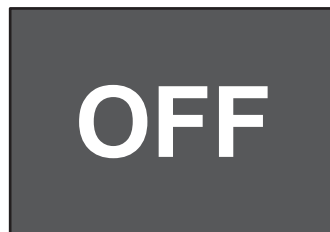
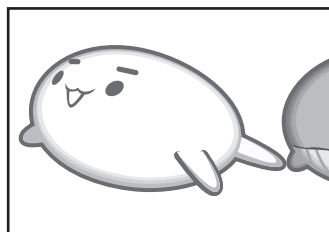
3 テレビの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れる

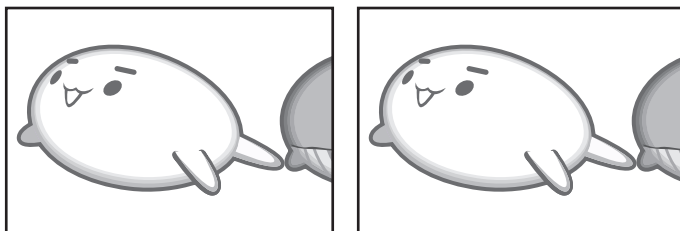
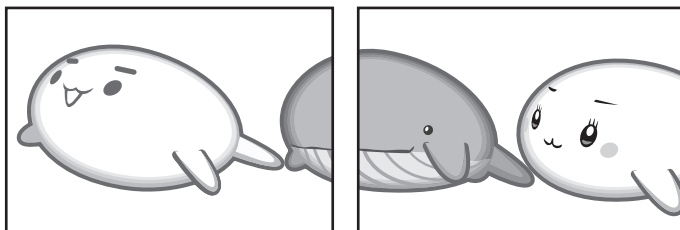
音声はパソコンのスピーカで聞くか、ヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続して聞いてください。

2 表示を切り替える

テレビを接続した場合には、次の表示方法があります。
表示方法は、表示装置の切り替えを行うことで変更できます。

■本体液晶ディスプレイだけに表示／テレビだけに表示

いずれかの表示装置にのみ、デスクトップ画面を表示します。

■本体液晶ディスプレイとテレビの同時表示

- **クローン表示**
  2つの表示装置それぞれにデスクトップ画面を表示します。

- **拡張表示**
  2つの表示装置を1つの大きなデスクトップ画面として使用（拡張表示）します。

テレビに表示するには次の設定を行ってください。設定を行わないと、テレビには表示されません。

メモ

- テレビに表示する場合は、1024×768ドット以下の解像度でご覧ください。

1 方法1－コントロールパネルで設定する

■TXW/69AWシリーズの場合

1 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする

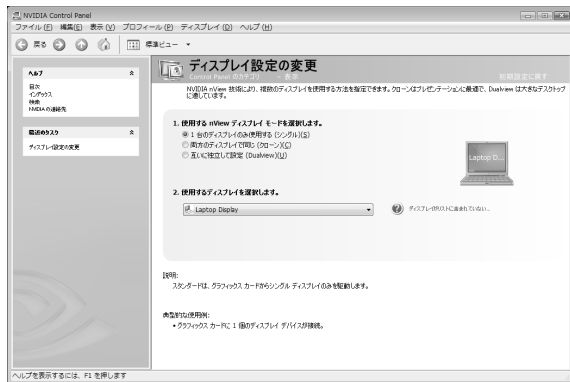
2 ［ その他のオプション］をクリックする

3 ［ NVIDIA Control Panel］をクリックする

カテゴリの選択画面が表示されます。

4 ［表示］をクリックする

5 ［ディスプレイ設定の変更］をクリックする

6 ［ディスプレイ設定の変更］画面で次のいずれかに設定する

● 設定方法

・本体液晶ディスプレイだけに表示

① ［1.使用するnViewディスプレイモードを選択します。］で［1台のディスプレイのみ使用する（シングル)］を選択する

② ［2.使用するディスプレイを選択します。］で［Laptop Display］を選択する

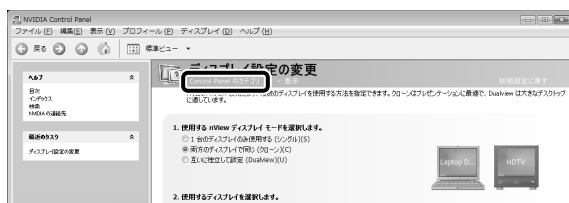
③ ［適用］ボタンをクリックする

・本体液晶ディスプレイとテレビの同時表示

① ［1.使用するnViewディスプレイモードを選択します。］で［両方のディスプレイで同じ（クローン)］を選択する

② ［2.使用するディスプレイを選択します。］で［Laptop Display＋TV］または［TV＋Laptop Display］のいずれかを選択する

③ ［適用］ボタンをクリックする

④ ［Control Panelのカテゴリ］をクリックする

⑤ ［ビデオとTV］を選択する

⑥ ［信号またはHDフォーマットの変更］をクリックする

⑦ ［2.使用するコネクタを選択します。］で［Sビデオ］に設定する

・ Sビデオ - NTSCまたはPAL標準精度 TV

その他のコネクタタイプが表示されることがありますが、選択しないでください。

⑧［使用する信号フォーマットを選択します。］で次のいずれかに設定する

国名／地域	信号形式
いずれでも	M（日本）/NTSC
いずれでも	M/NTSC
いずれでも	B/PAL

国内のテレビの場合は「M（日本）/NTSC」です。
その他の信号フォーマットが表示されることがありますが、選択しないでください。

⑨［適用］ボタンをクリックする

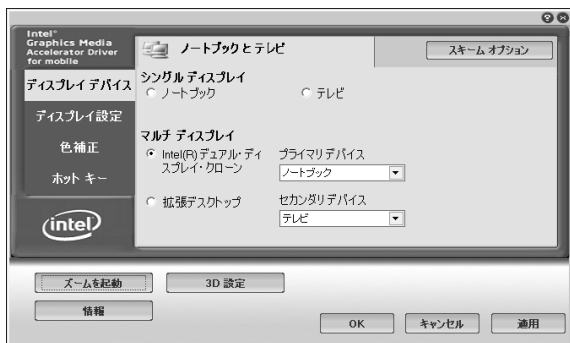
7 ［OK］ボタンをクリックする

■TX/67A、TX/66A、TXW/67AW、TXW/66AW、TX/65A、TX/55Aシリーズの場合

1 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ その他のオプション］をクリックする

3 ［ Intel(R) GMA Driver for Mobile］ボタンをクリックする

4 ［ディスプレイデバイス］で表示する装置を選択する

（表示例）

チェック（ ）がついている項目が現在の表示装置です。
＊画面はテレビと外部ディスプレイを接続している場合の表示例です。

● **本体液晶ディスプレイだけに表示**
［ノートブック］をクリックしてください。

● **テレビだけに表示**
［テレビ］をクリックしてください。
画面左側の［ディスプレイ設定］をクリックして表示される画面の「ビデオ標準」からモードを選択してください。
・NTSC-M（米国仕様のTV受信機）
・NTSC-J（日本仕様のTV受信機）
・PAL-B（ヨーロッパ仕様のTV受信機）

- **外部ディスプレイだけに表示**
  ［PCモニタ］をクリックしてください。

- **クローン表示**
  2つの表示装置それぞれにデスクトップ画面を表示します。
  ①［Intel(R) デュアル・ディスプレイ・クローン］をクリックする
  ②表示に合わせた設定をする

項目	プライマリデバイス	セカンダリデバイス
本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイでクローン表示	ノートブック	PCモニタ
本体液晶ディスプレイとテレビでクローン表示	ノートブック	テレビ

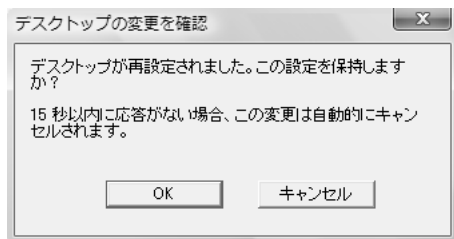
- **拡張表示**
  2つの表示装置を1つの大きなデスクトップ画面として使用できます。
  本体液晶ディスプレイと外部液晶ディスプレイまたはテレビの両方にクローン表示しているとき、［画面の設定］から拡張表示を設定できない場合があります。そのときは、CTRL＋ALT＋F12キーを押して設定画面を表示し、次のように操作します。
  ①［拡張デスクトップ］をクリックする
  ②表示に合わせた設定をする

項目	プライマリデバイス	セカンダリデバイス
本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイで拡張表示	ノートブック	PCモニタ
本体液晶ディスプレイとテレビで拡張表示	ノートブック	テレビ

メモ

- 本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイをクローン表示または拡張表示に設定する際に、外部ディスプレイにノイズが発生した場合は、外部ディスプレイの解像度、色数、リフレッシュレートを下げてご使用ください。
  設定は、クローン表示または拡張表示に設定したあと、［ディスプレイ設定］をクリックし、表示される画面で行います。

5 ［OK］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。

6 ［OK］ボタンをクリックする

2 方法2 － FN＋F5キーを使う

メモ　同時表示について

- 方法2では、同時表示はクローン表示となり、2つの表示装置それぞれにデスクトップ画面を表示します。拡張表示の設定はできません。

FNキーを押したままF5キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。上のカードは現在の表示装置を示しています。FNキーを押したままF5キーを押すたびに、大きなアイコンが移動します。表示する装置に大きなアイコンが移動したら、FNキーをはなすと表示装置が切り替わります。

- **表示装置をLCD（本体液晶ディスプレイ）に戻す方法**
  現在の表示装置がLCD（本体液晶ディスプレイ）以外に設定されている場合、表示装置をLCDに戻すことができます。表示装置を選択する画面が表示されていない状態で、FN＋F5キーを3秒以上押し続けてください。
  表示装置に何も表示されず、選択する画面が表示されているか確認できない場合は、いったんキーボードから指をはなしてから、FN＋F5キーを3秒以上押し続けてください。

表示装置を選択する画面

＊ 画面はLCDとテレビを接続した場合です。LCDまたは接続している表示装置のアイコンのみ表示されます。

（表示例）

- LCD ………………本体液晶ディスプレイだけに表示
- LCD＋TV ………本体液晶ディスプレイとテレビに同時表示
- TV …………………テレビだけに表示
  本体液晶ディスプレイには何も表示されません。
- LCD+TV Extended Desktop
  ………………………本体液晶ディスプレイとテレビに拡張表示
  本体液晶ディスプレイがプライマリモニタになります。
- LCD＋CRT ……本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイに同時表示
- CRT ………………外部ディスプレイだけに表示
  本体液晶ディスプレイには何も表示されません。
- LCD+CRT Extended Desktop
  ………………………ディスプレイと外部ディスプレイに拡張表示
  本体液晶ディスプレイがプライマリモニタになります。

❏ 拡張表示でプライマリモニタを切り替える方法

現在の表示装置が拡張表示に設定されている場合、プライマリモニタ、セカンダリモニタを切り替えるアイコン（Switch Image）が表示されます。

＊画面はLCDとテレビを接続した場合です。LCDまたは接続している表示装置のアイコンのみ表示されます。

（表示例）

FN＋F5キーを押して、プライマリ、セカンダリを切り替えるアイコンに移動したら、FNキーをはなすと、表示装置が切り替わります。
複数のユーザで使用する場合、ユーザアカウントを切り替えるときは［スタート］ボタン（　）→　ボタンをクリックし、表示されたメニューから［ログオフ］を選択してください。［ユーザーの切り替え］で切り替えた場合は、FN＋F5キーで表示装置を切り替えられません。

参照 ユーザアカウントの切り替え『Windowsヘルプとサポート』

3 パソコンから取りはずす

パソコン本体の電源を切ってから、テレビの電源を切った後、取りはずしを行ってください。

1 Windowsを終了させてパソコン本体の電源を切る

参照 電源の切りかた『準備しよう 1章 4-2 電源を切る』

2 テレビの電源を切る

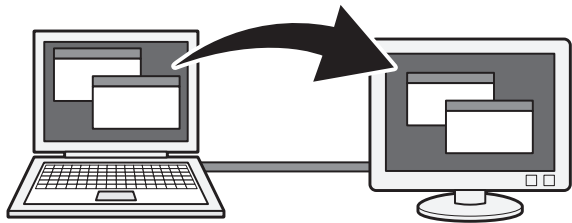
3 パソコン本体とテレビに差し込んである、S端子ケーブルを抜く

■アプリケーションの利用に関する注意事項

「InterVideo WinDVD」で使用する表示装置を変更したい場合は、アプリケーションを起動する前に表示装置を切り替えてください。
起動中は、表示装置を切り替えることができません。

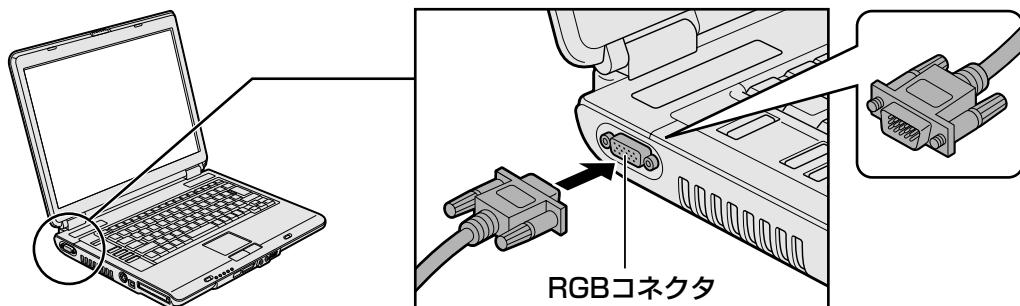
5 パソコンの画面を外部ディスプレイに映す
― 外部ディスプレイの接続 ―

RGB(アールジービー)コネクタにケーブルを接続して、外部ディスプレイにWindowsのデスクトップ画面を表示させることができます。

メモ

- 使用可能な外部ディスプレイは、本体液晶ディスプレイで設定している解像度により異なります。解像度にあった外部ディスプレイを接続してください。

1 パソコンに接続する

外部ディスプレイとパソコン本体の電源を切った状態で接続してください。

1 外部ディスプレイのケーブルのプラグをRGBコネクタに差し込む

2 外部ディスプレイの電源を入れてから、パソコン本体の電源を入れる

外部ディスプレイを接続してパソコン本体の電源を入れると、本体は自動的にその外部ディスプレイを認識します。

2 パソコンから取りはずす

1 Windowsを終了させてパソコン本体の電源を切る

参照 電源の切りかた『準備しよう 1章 4-2 電源を切る』

2 外部ディスプレイの電源を切る

3 RGBコネクタからケーブルを抜く

3 表示を切り替える

外部ディスプレイを接続した場合には次の表示方法があります。

- 外部ディスプレイだけに表示する
- 外部ディスプレイと本体液晶ディスプレイに同時表示する
  - ・クローン表示
  - ・拡張表示
- 本体液晶ディスプレイだけに表示する

表示方法は、テレビに表示する場合の説明を参考にしてください。

参照 表示方法について「本章 4-2 表示を切り替える」

「電源オプション」で表示自動停止機能を設定して外部ディスプレイの表示が消えた場合、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。また、スリープに設定してある場合は、電源スイッチを押してください。
表示が復帰するまで10秒前後かかることがありますが、故障ではありません。

切り替え方法

表示装置を切り替える方法は、テレビに表示する場合の「方法1」や「方法2」を参考にしてください。

参照 表示方法について「本章 4-2 表示を切り替える」

メモ

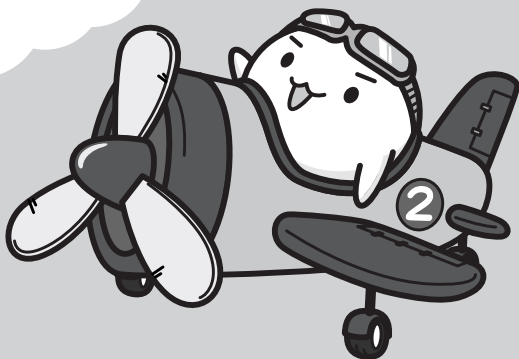
- 外部ディスプレイと本体液晶ディスプレイを同時表示させる場合は、外部ディスプレイ／本体液晶ディスプレイとも本体液晶ディスプレイの色数／解像度で表示されます。

4 表示について

外部ディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、外部ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。

4 章

バッテリ駆動で使う

パソコンをモバイル使用する際に大事な存在であるバッテリは、使いかたによっては長持ちさせることができます。
ここでは、充電や充電量の確認など、バッテリを使用するにあたっての取り扱い方法について説明しています。

1 バッテリについて

パソコン本体には、バッテリパックが取り付けられています。
バッテリを充電して、バッテリ駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。
本製品を初めて使用するときは、バッテリパックを充電してから使用してください。
バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめACアダプタを接続してバッテリパックの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリパックを取り付けてください。
『安心してお使いいただくために』に、バッテリパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危険

- **バッテリパックは、必ず本製品に付属の製品を使用すること**
  寿命などで交換する場合は、次の東芝製バッテリをお買い求めください。
  - ・TX/67A、TX/66A、TXW/69AW、TXW/67AW、TXW/66AWシリーズ ：PABAS076
  - ・TX/65A、AX/55Aシリーズ ：PABAS067
  - ・TX/65AE ：PABAS069

  指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **バッテリパックを分解・改造しないこと**
  分解・改造すると、火災・破裂・発熱の原因となります。指定以外の製品や、分解・改造したものは、安全性や製品に関する保証はできません。

⚠警告

- **別売りのバッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないこと**
  お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

⚠注意

- **バッテリパックの充電温度範囲内（5～35℃）で充電すること**
  充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。

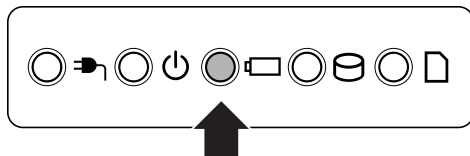
お願い バッテリを使用するにあたって

- あらかじめ、「付録 1-6 バッテリについて」を確認してください。

1 バッテリ充電量を確認する

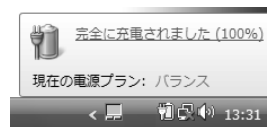
バッテリ駆動で使う場合、バッテリの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリの充電量を確認しておく必要があります。

1 Battery LEDで確認する

ACアダプタを使用している場合、Battery LEDが点灯します。

Battery LEDは次の状態を示しています。

青	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要 参照 バッテリの充電について「本節 2 バッテリを充電する」
消灯	・バッテリが接続されていない ・ACアダプタが接続されていない ・バッテリ異常 異常の場合は、購入店または近くの保守サービスに連絡してください。

2 通知領域の［バッテリ］アイコンで確認する

通知領域の［バッテリ］アイコン（ ）の上にポインタを置くと、バッテリ充電量が表示されます。
このときバッテリ充電量以外にも、現在の電源プランが表示されます。

参照 省電力設定について《おたすけナビ（検索）：省電力の設定をする》

1ヵ月以上の長期にわたり、ACアダプタを接続したままパソコンを使用してバッテリ駆動を行わないと、バッテリ充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリ充電量が減少したときは、Battery LEDや［バッテリ］アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に1度は再充電することを推奨します。

4章 バッテリ駆動で使う

3 バッテリ充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリの充電量が少なくなると、次のように警告します。

- Battery LEDがオレンジ色に点滅する（バッテリの残量が少ないことを示しています）
- バッテリのアラームが動作する
  「電源オプション」の［詳細設定］タブの［バッテリ低下の通知］で設定すると、バッテリの残量が少なくなったことを通知したり、自動的に対処する動作を行います。

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。
①パソコン本体にACアダプタを接続し、充電する
②電源を切ってから、フル充電のバッテリパックと取り換える

購入時は休止状態が設定されています。バッテリ減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

長時間使用しないでバッテリが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、Battery LEDでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

時計用バッテリ

本製品には、取りはずしができるバッテリパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリが内蔵されています。
時計用バッテリの充電は、ACアダプタを接続し電源を入れているとき（電源ON時）に行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識する必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。
時計用バッテリが切れていると、時間の再設定をうながすWarning（警告）メッセージが出ます。

■充電完了までの時間

状態	時計用バッテリ
電源ON（Power LEDが青色に点灯）	24時間

実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

2 バッテリを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

お願い　バッテリを充電するにあたって

- あらかじめ、「付録 1 - 6 - バッテリを充電するにあたって」を確認してください。

1 充電方法

1 パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

DC IN LEDが青色に点灯してBattery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、電源のON／OFFにかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 Battery LEDが青色になるまで充電する

バッテリの充電中はBattery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

メモ

- パソコン本体を長時間ご使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

■充電完了までの時間

バッテリ充電時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。周囲の温度が低いとき、バッテリパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合は、または使用中のアプリケーションによっては、時間よりも長くかかることがあります。
詳細は、別紙の『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■バッテリ駆動時間

バッテリ駆動時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。
詳細は、別紙の『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

■バッテリ駆動時の処理速度

高度な処理を要するソフトウェア（3Dグラフィックス使用など）を使用する場合は、充分な性能を発揮するためにACアダプタを接続してご使用ください。

■使っていないときの充電保持時間

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリ充電量は少しずつ減っていきます。バッテリの保持時間は、放置環境などによって異なります。
保持時間は、充電完了の状態で電源を切った場合の目安にしてください。
詳細は、別紙の『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。
スリープを実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短いため、バッテリ駆動時は休止状態にすることをおすすめします。

3 バッテリパックを交換する

バッテリパックの交換方法を説明します。
バッテリパックの取り付け／取りはずしのときには、「スリープ」にするのではなく、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

メモ

- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

1 取りはずし／取り付け

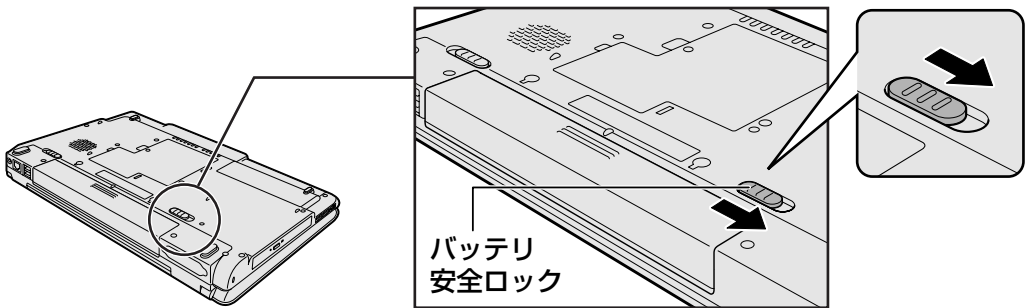
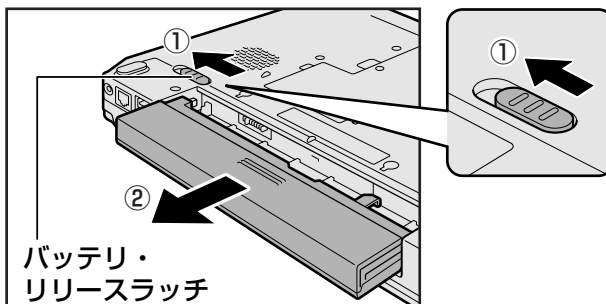
1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

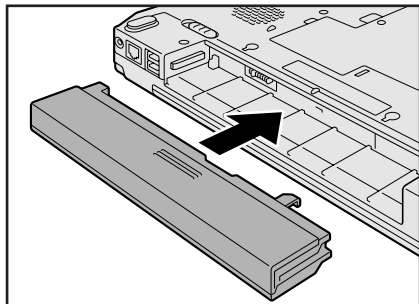
参照 電源の切りかた『準備しよう 1章 4-2 電源を切る』

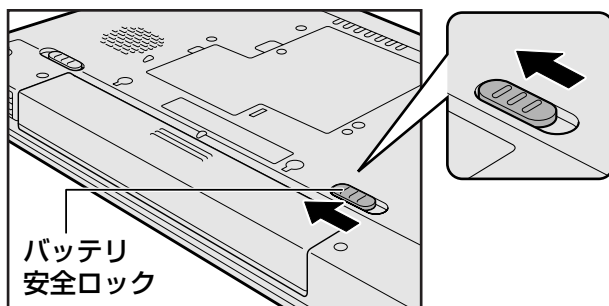
2 パソコン本体からACアダプタと周辺機器のケーブル類をはずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

4 バッテリ安全ロックを矢印の方向に引く

バッテリ・リリースラッチがスライドできるようになります。

5 バッテリ・リリースラッチをスライドしながら①、バッテリパックを取りはずす②

6 交換するバッテリパックを、「カチッ」と音がするまで静かに差し込む

新しいあるいは充電したバッテリパックを、バッテリ・リリースラッチが自動的にスライドして、「カチッ」という音がするまで注意して差し込んでください。

7 バッテリ安全ロックを矢印の方向にスライドする

バッテリパックがはずれないように、バッテリ安全ロックは必ず行ってください。

5章

システム環境の変更

本製品を使用するときの、システム上のさまざまな環境を設定する方法について説明しています。

1 システム環境の変更とは

本製品は、次のようなパソコンのシステム環境を変更できます。
システム環境を変更するには、Windows上のユーティリティで変更するか、またはBIOSセットアップで変更するか、2つの方法があります。
通常は、Windows上のユーティリティで変更することを推奨します。

変更できる項目		Windows上のユーティリティ
ハードウェア環境（パソコン本体）の設定		「東芝HWセットアップ」 参照 《おたすけナビ（検索）： システム環境の設定を変更する》
パスワードセキュリティの設定	ユーザパスワード	「東芝HWセットアップ」 参照 《おたすけナビ（検索）：ユーザパスワード》
	スーパーバイザパスワード	「スーパーバイザパスワードユーティリティ」 参照 《おたすけナビ（検索）：スーパーバイザパスワード》
省電力の設定		「電源オプション」 参照 《おたすけナビ（検索）：省電力の設定をする》

BIOSセットアップについては「本章 2 BIOSセットアップを使う」をご覧ください。

2 BIOSセットアップを使う

BIOS（バイオス）セットアップとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。
次のような設定ができます。

- ハードウェア環境（パソコン本体、周辺機器接続ポート）の設定
- セキュリティの設定
- 起動方法の設定

メモ　BIOSセットアップを使用する前の注意

- 通常、システム構成の変更はWindows上の「東芝HWセットアップ」、「電源オプション」、「デバイスマネージャ」などで行ってください。
- 使用しているシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- BIOSセットアップで設定した内容は、電源を切っても消えません。しかし、内蔵バッテリ（時計用バッテリ）が消耗した場合は標準設定値に戻ります。

1 起動と終了／BIOSセットアップの操作

1 起動

1 キーボードのF2キーを押しながら電源スイッチを押し、「dynabook」画面が表示されてから手をはなす

パスワードを設定している場合は、画面の指示に従って登録したパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

参照 パスワードについて《おたすけナビ（検索）：ユーザパスワード》

BIOSセットアップが起動します。
起動できなかった場合は、通常の終了操作を行ってパソコン本体の電源を切り、手順 1 をやり直してください。

2 終了

変更した内容を有効にして終了します。

1 ［終了］メニューを表示する

2 終了方法を選択する

3 画面の指示に従ってBIOSセットアップを終了する

Windowsが起動します。

3 基本操作

基本操作は次のとおりです。

メニューを選択する	← または → 上段のメニュー名が反転している部分が現在表示しているメニュー画面です。
変更したい項目を選択する	↑ または ↓ 画面中で反転している部分が現在変更できる項目です。
サブメニューや設定値の一覧を表示する	ENTER
項目の内容を変更する	SPACE 、F5 、F6
設定内容を標準値にする	F9 「デフォルト値をロードしますか？」というメッセージが表示されます。「はい」を選択し、ENTER キーを押してください。 パスワードはこの操作をしても削除されません。
設定を保存し、BIOSセットアップを終了する	F10 「設定の変更を保存して終了しますか？」というメッセージが表示されます。保存する場合は「はい」を選択し、ENTER キーを押してください。 BIOSセットアップ終了後、Windowsが起動します。 保存しない場合は「いいえ」を選択し、ENTER キーを押してください。
［終了］メニューを表示する	ESC サブメニュー表示中は1つ前の画面に戻ります。
BIOSセットアップのヘルプを表示する	F1

6章

パソコンの動作がおかしいときは

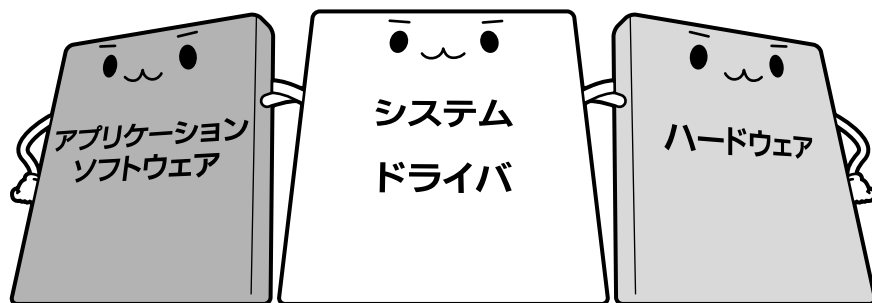
パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。
「dynabook.com」で情報を調べる方法なども紹介しています。
トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

1　トラブルを解消するまでの流れ

お使いのパソコンに起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

1　トラブルの原因をつき止めよう

パソコンに起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。
そのために、パソコンの構造をある程度知っておくことが必要です。
ここでは、パソコンの構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

■パソコンを構成する3つの部分

- **アプリケーションソフトウェアとは**
  メールやインターネットは、アプリケーションソフトウェアの機能です。Word（ワード）（文書作成ソフト）やExcel（エクセル）（表計算ソフト）、ウイルスチェックソフトもアプリケーションソフトウェアの代表的なものです。それぞれ製造元が異なります。

- **システム、ドライバとは**
  システムは、オペレーティングシステム、OS（オーエス）とも言い、パソコンを動かすための基本的な働きをします。本製品のシステムはWindows Vistaです。
  ドライバは、周辺機器とシステムを連携する役割をします。ドライバがないと、周辺機器は使用できません。代表的なドライバに、ディスプレイドライバやサウンドドライバ、マウスなどがあります。基本的なドライバは、システムが標準装備していますが、周辺機器によっては、専用のドライバが付属されている場合があります。

- **ハードウェアとは**
  バッテリやACアダプタはもちろん、画面（ディスプレイ）、キーボード、バッテリ、ハードディスク、CPUなど、パソコン本体を指します。

パソコンはこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状にあわせた対処をすることが解決への早道です。
トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→システム、ドライバ→パソコン本体の順にチェックします。

STEP1 アプリケーションソフトウェアに原因がある場合

トラブル

例1 ： メールやインターネットがつながらない

アクセスポイントやメールサーバ、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダごとに異なります。契約プロバイダから指定された設定データが正しくパソコンの設定に反映されているかを確認してください。

解消法

例1 ： プロバイダへのお問い合わせについて

お客様ご契約のプロバイダの窓口へお問い合わせください。
本製品のデスクトップ上のアイコンから契約できるプロバイダのお問い合わせ先は「7章 お問い合わせされるときは」を参照してください。

トラブル

例2 ： アプリケーションの使いかたがわからない

付属のマニュアルや「おたすけナビ」を読んで、アプリケーションソフトの使いかたを確認します。

解消法

例2 ： アプリケーションの使いかたについて

『映像と音楽を楽しもう』、「おたすけナビ」や、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先「7章 お問い合わせされるときは」

トラブル

例3 ： どのアプリケーションを使ったらいいかわからない

付属のマニュアルや「おたすけナビ」に、代表的な操作を記載しています。

解消法

例3 ：「ソフトナビ」でアプリケーションを探す

「おたすけナビ」の「ソフトナビ」で、本製品に用意されたアプリケーションを目的別に探すことができます。

STEP2　OSやドライバに原因がある場合

トラブル

例4 ：正常に画面が表示されない、音が出ない、設定があっているのにインターネットにつながらない

解消法

例4 ・例5：ドライバを入れ直す

再起動をすると自動的にドライバの検出を行う場合があります。再起動後、［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

参照 再起動
《おたすけナビ（検索）：
パソコンを再起動する》

例5 ：青い画面で「STOPOX******」（一般に「STOPエラー」や「ブルースクリーン」「ブルーパニック」と呼ばれる画面）が表示された

例5 ：動作に影響を与えているアプリケーションや周辺機器を調べる

周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解消される場合が少なくありません。
周辺機器を取りはずしたり、「システム構成ユーティリティ」でプログラムやサービスを停止して起動したりすることで調べることができます。

参照 システム構成ユーティリティ
《おたすけナビ（検索）：
必要最低限のシステムで起動する》

それでもトラブルが解消しない場合には、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『東芝PCサポートのご案内』

STEP3 パソコン本体に原因がある場合

トラブル

解消法

例6：ドライバを入れなおしても機器が動かない

例6：リカバリ（再セットアップ）する

パソコン本体が動作する場合は、「リカバリ（再セットアップ）」を行ってください。「リカバリ」は、ハードディスクのデータが消えるため、バックアップを行うことをおすすめします。

参照 バックアップをとる
『準備しよう 4章 大切なデータを失わないために』

参照 リカバリ
『準備しよう 5章 買ったときの状態に戻すには』

例7：電源ランプが点灯せず、パソコンがまったく動作しない。

それでもトラブルが解消しない、あるいはまったくパソコンが動作しない場合は、パソコン本体が故障している可能性があります。
パソコンの操作について、困ったときや修理のご依頼は東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照 『東芝PCサポートのご案内』

2 トラブル対処法

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 付属の冊子マニュアルを読む

本書には、トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。
また、本製品には目的別に複数の冊子マニュアルがあります。本書以外の冊子も読んでください。

STEP2「よくあるしつもん」集から探す

「おたすけナビ」の「よくあるしつもん」にも、使っていて操作がおかしいと感じたときの対処法が載っています。また、ちょっと便利な使いかたもQ&A形式で載っています。
「おたすけナビ」は、本製品の電源を入れた状態で、デスクトップ上の［あなたの「困った」を解決 おたすけナビ 3.0］をクリックすると起動できます。

STEP3 ヘルプやマニュアルから探す

「おたすけナビ」の検索機能を使って、本製品に用意されているアプリケーションのヘルプやマニュアルを検索して調べることができます。
検索画面と検索のしかたは、「おたすけナビ」を起動し、［マニュアル検索］ボタン（マニュアル検索）をクリックすると表示されます。

STEP4 サポートのサイトで調べる

本製品独自のサポートサイト「あなたのdynabook.com」へ接続し、各種サポート情報から解決方法を探します。

参照 あなたのdynabook.com「本節 3 - 1 「あなたのdynabook.com」を見る」

それでもトラブルが解消しない場合は、お問い合わせください。
本製品に用意されているアプリケーションやサインアップソフトで加入できるプロバイダの問い合わせ先は「7章 お問い合わせされるときは」で確認してください。

3 トラブル事例を見てみる

1 「あなたのdynabook.com」を見る

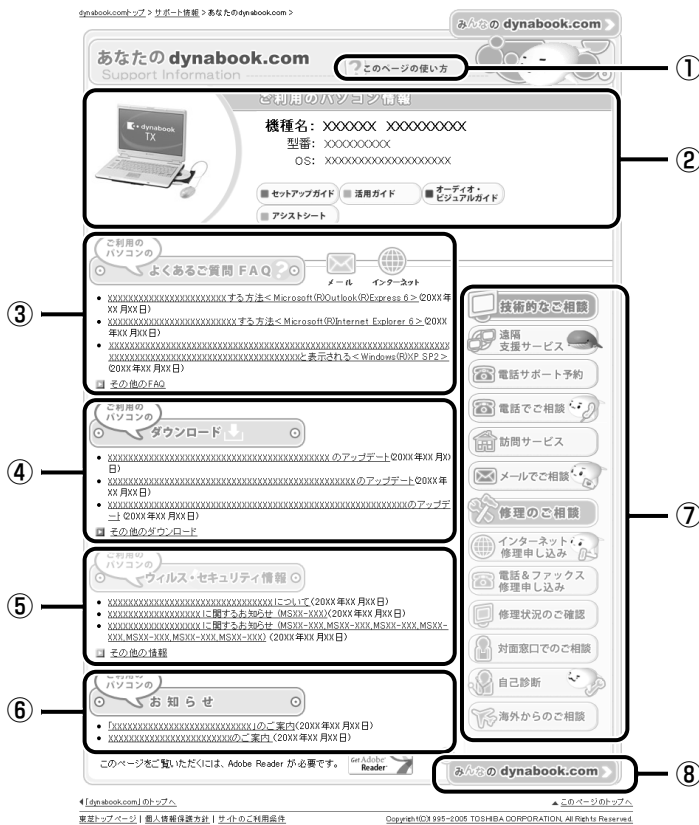
「あなたのdynabook.com」では、ご利用のパソコンの「よくあるご質問 FAQ」、デバイスドライバや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などをご覧になれます。
ご利用のパソコンに関する情報だけが表示されるので、目的の情報を簡単に探すことができます。また、サポート窓口や修理についても案内しています。
「あなたのdynabook.com」を表示するには、デスクトップ上の［お使いのPCのサポート情報 あなたのdynabook.com］をクリックすると、説明の画面が表示されますので、「http://dynabook.fresheye.com/cgi-bin/login.cgi」をクリックしてください。
メッセージが表示された場合は、画面に従ってください。

次の方法でも表示できます。

1 ［スタート］ボタン（ ）をクリックし、［インターネット］をクリックする

Internet Explorerが起動します。
購入時の状態では、起動して最初に「あなたのdynabook.com」が表示されるように設定されています。

参照 インターネットの接続について
《できるdynabook 第3章 インターネットを使う準備をしよう》

＊「あなたのdynabook.com」に表示されるボタン・内容は機種によって異なります。
本書に記載している画面は、表示例です。

（表示例）

①このページの使い方
クリックすると、「あなたのdynabook.com」の使いかたを紹介したページが表示されます。

②ご利用のパソコン情報
ご利用のパソコンの情報やマニュアルなどが表示されます。

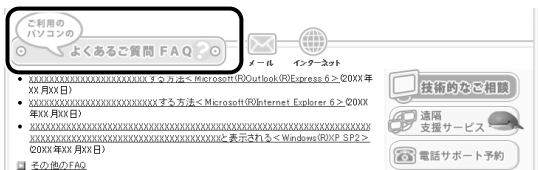
③よくあるご質問 FAQ
日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。
タイトルの右にあるカテゴリのアイコンをクリックすると、そのカテゴリに関するFAQだけを表示できます。

④ダウンロード
デバイスドライバや修正モジュールをダウンロードできます。
⑤ウイルス・セキュリティ情報
⑥お知らせ
⑦技術的なご相談／修理のご相談
サポート窓口や修理窓口のページにアクセスできます。
⑧「みんなのdynabook.com」ボタン
クリックすると、東芝パソコン全体のサポート情報のページが表示されます。

2 東芝パソコンのサポート情報ページを見る

「あなたのdynabook.com」では本製品の「よくあるご質問 FAQ」、デバイスドライバや修正モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などをご覧になれます。

■パソコンの操作に困ったら「よくあるご質問 FAQ」

「よくあるご質問 FAQ」では、日頃、よく寄せられる質問について、サポートスタッフが、図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。

［ご利用のパソコンのよくあるご質問FAQ］をクリックすると、［カテゴリ（かんたん）検索］画面が表示されます。
カテゴリ（かんたん）検索では、条件を選択すると解決方法を検索できます。

サポート情報は、最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。

■メールで質問する「東芝PCオンライン」

「よくあるご質問 FAQ」を探しても問題が解決できないときは、専用フォームからお問い合わせください。24時間365日いつでも受け付けており、サポート料は無料です。
ご利用には「お客様登録」が必要ですので、事前に登録をしてください。

参照 『準備しよう 6 章 1-1 東芝ID（TID）お客様登録のおすすめ』

1 「よくあるご質問 FAQ」で解消方法を探す

2 「A. 回答・対処方法」の説明の後のアンケートに答える

「3」「4」「5」のいずれかの項目にチェックをつけてください。

3 ［送信］ボタンをクリックする

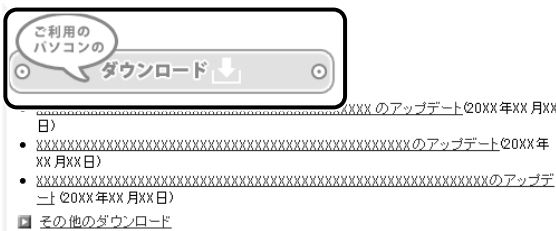
東芝PCオンラインへのリンク画面が表示されます。

4 「東芝PCオンライン」をクリックする

画面の説明に従って専用フォームからご質問ください。
メールにてご回答させていただきます。
質問内容、お問い合わせ状況により、回答にお時間をいただくことがございます。ご了承ください。
この他、アプリケーションの取り扱い元では、ホームページに情報を掲載している場合があります。アプリケーションについて知りたいことがあるときは、ホームページを確認するのも良いでしょう。

参照 ホームページアドレスについて「7章 お問い合わせされるときは」

■ **モジュールのダウンロード**

本製品のデバイスドライバや修正モジュールをダウンロードできます。
［ご利用のパソコンのダウンロード］をクリックすると、［キーワード検索］画面が表示されます。キーワード検索では、キーワードや文章を入力すると、モジュールの情報が検索、一覧表示されます。
OSをアップグレードしたい場合は、OSにあったモジュールをダウンロードしてください。

（表示例）

メモ

- 東芝パソコン全体のサポート情報は、「dynabook.com」の「サポート情報」ページでご覧になれます。
  URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm
- 相談窓口やPCのリサイクル、お客様登録については、本章の以降のページや『準備しよう 6章』にも詳しく紹介されています。

2 Q&A集

ここに掲載しているQ&A集のほかに、「おたすけナビ」にもQ&A集があります。
目的の項目が見つからないときは、「おたすけナビ」も参照してください。

役立つ操作集

「よくあるしつもん」を見てみよう

Q&A集を見ても知りたいことが見つからない場合は、パソコンで「おたすけナビ」の「よくあるしつもん」を見てみましょう。
インターネットに接続しなくても閲覧できるため、操作も簡単です。

① デスクトップ上の をクリックする

おたすけナビが起動します。

② ［よくあるしつもん］（よくあるしつもん）をクリックする

③ サブメニューから［便利な使いかた］（便利な使いかた）または［Q&A］（Q&A）をクリックする

［便利な使いかた］または［Q&A］の一覧が表示されます。

④ カテゴリの中から知りたい項目をクリックする

⑤ 参照したい質問をクリックする

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押してもPower LEDが点灯しない

A 電源スイッチを2秒間押した後、指をはなすと電源が入ります。
Power LEDが青色に点灯することを確認してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。
次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用のACアダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について「4章 1-2 バッテリを充電する」

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。
パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。
システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

① キーボード F12 キーを押しながら電源スイッチを押し、［dynabook］画面が表示されてから手をはなす
② 表示されたメニューからシステムの入っているドライブ（通常はハードディスク）を ↑ ↓ キーで選択し、 ENTER キーを押す

A 電源スイッチを押した後、［dynabook］画面が表示されている間に、 F8 キーを数回連打すると、正常な状態で起動しなおすことができます。
表示された「詳細オプション」で目的に合わせて［セーフモード］または［前回起動時の構成］を選択し、 ENTER キーを押してください。

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

A バッテリ駆動で使用している場合、バッテリの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプタを接続して、電源を供給する
  （他製品用のACアダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について「4章 1-2 バッテリを充電する」

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LEDが青色に点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFT キーや CTRL キーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。
外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A Power LEDがオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

①［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする
②［ システムとメンテナンス］→［ 電源オプション］をクリックする
③［電源プランの選択］で利用するプランを選択する
④選択したプランの［プラン設定の変更］をクリックし、［ディスプレイの電源を切る］および［コンピュータをスリープ状態にする］で［なし］を選択する
⑤［変更の保存］ボタンをクリックする

2 画面／表示

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

SHIFT キーや CTRL キーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。

外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

A 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。

FN ＋ F5 キーを3秒以上押し続けてください。表示装置が本体液晶ディスプレイに切り替わります。

参照 詳細について「3章 4 - 2 - 2 方法2－ FN ＋ F5 キーを使う」

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A FN ＋ F7 キーを押して、本体液晶ディスプレイ（画面）の輝度を明るくしてください＊1

FN ＋ F6 キーを押すと、逆に、本体液晶ディスプレイの輝度は暗くなります。

FN キーで本体液晶ディスプレイの輝度を変更した場合、パソコンの電源を切ったり再起動したりすると設定はもとに戻ります。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

［電源オプション］には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。

詳細は、［電源オプション］のヘルプを参照してください。

次の手順で設定を変更してください。＊1

① ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする
② ［ システムとメンテナンス］→［ 電源オプション］をクリックする
③ ［電源プランの選択］で利用するプランを選択する
④ 選択したプランの［プラン設定の変更］をクリックする
⑤ ［ディスプレイの輝度を調整］のスライダーバーを左右にドラッグする
⑥ ［変更の保存］ボタンをクリックする

＊1 この設定は、外部ディスプレイには反映されません。

3 キーボード

Q ポインタが輪の形をしている間にキーを押しても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインタが輪の形（◎）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、キーボードやタッチパッドなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう

A 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触れると、カーソルがとんだり、アクティブウィンドウが切り替わってしまうことがあります。

FN＋F9キーを押して、タッチパッドを無効に切り替えてください。

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。

もし、液体がパソコン内部に入ったときは、ただちに電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスにご相談ください。

保守サービスへの相談は『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

4 タッチパッド／マウス

＊マウスは、モデルによって別売りです。

Q クリックしても反応がない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインタが輪の形（◎）をしている間は、システムが処理をしている状態のため、タッチパッド、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A マウスが正しく接続されていない可能性があります。

マウスとパソコン本体が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。

A タッチパッドのみ操作を受け付けない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。

FN＋F9キーを押して、タッチパッドを有効に切り替えてください。

参照 タッチパッドについて
「1章 2 ポインタを動かす／文字キーを使う」

Q ダブルクリックがうまくいかないので、速度を変更したい

A 次の手順で、ダブルクリックの速度を調節してください。

① ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする
② ［ マウス］をクリックする
　［マウスのプロパティ］画面が表示されます。
③ ［ボタン］タブで［ダブルクリックの速さ］のスライダーバーを左右にドラッグする
④ ［OK］ボタンをクリックする

Q ポインタの速度を調節したい

A 次の手順でポインタの速度を変更してください。

① ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする
② ［ マウス］をクリックする
　［マウスのプロパティ］画面が表示されます。
③ ［ポインタオプション］タブで［速度］のスライダーバーを左右にドラッグする
④ ［OK］ボタンをクリックする

Q 光学式マウスの反応がおかしい

A 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインタがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。

A 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

5 メッセージ

Q 画面に「パスワードを入力して下さい。」と表示された

A 「東芝HWセットアップ」またはBIOSセットアップで設定したパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「HDDパスワードを入力してください。」と表示された

A BIOSセットアップで設定したHDDパスワードを使って認証を行ってください。

次の操作を行ってください。

①HDDパスワードを入力し、ENTERキーを押す

HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合は有償です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 起動時に「Windows再開ローダ」が表示され、Windowsが起動しない

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。
電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①「Windows再開ローダ」で「復元データを削除してシステムブートメニューに進む」が反転表示していことを確認し、ENTERキーを押す

②「Windowsエラー回復処理」で「Windowsを通常起動する」が反転表示していることを確認し、ENTERキーを押す
Windowsが起動します。

Q 起動時に「0271：Check data and time settings … Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動できない

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、ACアダプタを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて「4章 1-1-3-時計用バッテリ」

ACアダプタを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

① F2キーを押す
BIOSセットアップ画面が表示されます。
②［メイン］メニューの［言語：］で［日本語（JP)］を選択する
③ F9キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
④［はい］を選択し、ENTERキーを押す
BIOSセットアップが標準設定の状態になります。
⑤［メイン］メニューの［システム時刻：］で時刻を設定する
⑥［メイン］メニューの［システム日付：］で日付を設定する
⑦ F10キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
⑧［はい］を選択し、ENTERキーを押す
BIOSセットアップが終了し、パソコンが再起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Update やアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について『Windowsヘルプとサポート』

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing Press any key to restart」

A フロッピーディスクなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

6 その他

Q ハードディスクからリカバリできなくなったときは

A ハードディスクドライブに内蔵されているリカバリ（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。
また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリができなくなることがあります。
「TOSHIBA Recovery Disc Creator」で作成したリカバリディスクを使って、リカバリしてください。

参照 リカバリの操作方法
『準備しよう 5章 2-3 リカバリディスクからリカバリをする』

リカバリディスクがない場合は、修理が必要になる可能性があります。購入店、または保守サービスに相談してください。

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリパックをパソコン本体から取りはずしてから購入店、または保守サービスに相談してください。
なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q　このQ&A集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1「おたすけナビ」の「Q&A」や「便利な使いかた」を見る

このQ&A集は、パソコンの電源が入らないなど、「おたすけナビ」を見られない状況でのQ&Aのみ記載しています。おたすけナビの「Q&A」には、このほかにも困ったことが起きた場合の対処方法を記載しています。また「便利な使いかた」は、文字入力やインターネット、メールの使いかたで知っておくと便利な設定、手順をQ&A形式で記載しています。「おたすけナビ」が見られる場合は、確認してみてください。

「おたすけナビ」を起動し、「よくあるしつもん」ボタンをクリックして、サブメニューから「Q&A」または「便利な使いかた」をクリックすると、Q&Aの一覧が表示されます。

参照 「おたすけナビ」の起動方法『マニュアル紹介シート』

2「おたすけナビ」で調べる

「おたすけナビ」には、パソコン内の電子マニュアルで、検索する機能があります。知りたい内容がこのQ&A集に載っていない場合は、おたすけナビで検索してみてください。詳細は「おたすけナビ」を起動し、［使いかた］ボタンをクリックして表示される説明を参照してください。

3「あなたのdynabook.com」や「dynabook.com」の「よくあるご質問 FAQ」を調べる

インターネットに接続できるときは、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。お問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。

参照 dynabook.com「本章 1-3 トラブル事例を見てみる」

「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明の後のアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。

＊メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

4 東芝PCあんしんサポートに電話する

パソコン本体のトラブルは、東芝PCあんしんサポートでお答えします。『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

参照 東芝PCあんしんサポート『東芝PCサポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先「7章 お問い合わせされるときは」

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

7 章

お問い合わせされるときは

本製品に用意されているOS、アプリケーション、プロバイダのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときや、プロバイダへお問い合わせされるときは、こちらに連絡してください。

1 お問い合わせ先 －OS／アプリケーション／プロバイダー

＊2006 年11月現在の内容です。
各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

1 OSのお問い合わせ先

Windows Vista™ についてのサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://support.microsoft.com/

Windows Vista™ に関する一般的なお問い合わせは、東芝PCあんしんサポートになります。

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

Microsoft Office Excel／Microsoft Office Outlook／Microsoft Office PowerPoint／Microsoft Office Word／Microsoft Officeナビ

マイクロソフト無償サポート

〈TEL〉

TEL　：東京：03-5354-4500
　　　：大阪：06-6347-4400

※次の情報をお手元に用意してご連絡ください。
郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お問い合わせ製品のプロダクトID
詳細は、製品添付の「パッケージ内容一覧」をご覧ください。

〈受付時間・お問い合わせ回数〉

●セットアップ、インストールに関するお問い合わせ

受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日、日曜日）
（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く。日曜日が祝祭日の場合は営業いたします。その場合、振替休日は休業させていただきます）

回数　：指定はございません。

●基本操作に関するお問い合わせ

受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
10:00～17:00（土曜日）
（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く）

無償サポート回数：Microsoft Office Personal 2007（Word/Excel/Outlook/Officeナビ）は4インシデント、Microsoft Office PowerPoint 2007は2インシデントとなります。

お問い合わせに関する詳細は、Microsoft Office Personal 2007およびMicrosoft Office PowerPoint 2007のスタートガイドをご覧ください。

〈ホームページ〉

URL　：http://support.microsoft.com/

※電話サポート（無償）もしくは、製品サポートからお問い合わせになる製品をお選びください。

備考　：マイクロソフトサポートWeb上から直接インターネットを通じてお問い合わせも可能です。

答えてねっと：http://www.kotaete-net.net/

マカフィー・インターネットセキュリティスイート ベーシック エディション

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

（主に、ユーザ登録や更新時お支払い等、オペレーション上でのお問い合わせ。）

受付時間　：9:00～17:00（土・日・祝祭日除く）
TEL　：0570-030-088
E-mail　：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
ホームページ：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/

マカフィー・テクニカルサポートセンター

（主に、ソフトウェアご使用上の操作方法や不具合等技術的なお問い合わせ。）

受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
TEL　：0570-060-033
E-mail　：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
ホームページ：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
チャット　：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

ウイルスバスター

ウイルスバスターサービスセンター

受付時間　：9:30～17:30
TEL　：0570-008326
ホームページ：http://www.trendmicro.co.jp/support/vb/index.asp

BeatJam／ラベルマイティ5［セレクト版］

●ユーザー登録に関するお問い合わせ

ユーザー登録ご相談窓口

受付時間　：平日 10:00〜19:00、土・日・祝日 10:00〜17:00（特別休業日を除く）
TEL　：東京 03-5412-2624　大阪 06-6886-2624
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ

ジャストシステムサポートセンター

※サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。

受付時間　：平日 10:00〜19:00、土・日・祝日 10:00〜17:00（特別休業日を除く）
TEL　：東京 03-5412-3980　大阪 06-6886-7160
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

Broad News Street

ニューズウォッチ カスタマーサポート

受付時間　：平日 10:00〜17:00
E-mail　：toshibapc@newswatch.co.jp
ホームページ：http://www.newswatch.co.jp/bns/toshibapc/

Corel Paint Shop Pro PhotoXI／Corel Photo Album 6 Starter Edition

コーレルテクニカルサポート

無料電話サポート…初回お問合せ日から90日間のサポート
受付時間　：10:00〜17:00　月曜日〜金曜日（祝日・年末年始を除く）
TEL　：0570-003-002

無料メールサポート…専用のWEBメールフォームでのサポート
http://www.corel.jp/support/tech_mail.html

有料電話サポート…下記のお客様に対して有料でのサポートを行っています。
・90日間の無料電話サポート期間終了後、引き続き電話でのサポートをご希望の場合
・無料電話サポート期間中、サポートセンターからの電話による時間指定でのサポートをご希望の場合

サポートに関する詳細は弊社サポートページをご覧いただくか、もしくはカスタマーセンターへお問合せください。
http://www.corel.jp/support/

コーレルカスタマーセンター

（ご購入前のお問い合わせおよびサービスに関するお問い合わせ窓口）
受付時間　：10:00〜17:00　月曜日〜金曜日（祝日・年末年始を除く）
TEL　：03-5977-3793

コーレルホームページ

http://www.corel.jp/

gooスティック

goo事務局

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
TEL　：045-848-4190
E-mail　：info@goo.ne.jp
ホームページ：http://stick.goo.ne.jp

i-フィルター4

デジタルアーツ株式会社　i- フィルター・サポートセンター

受付時間　：平日10:00～18:00　土・日・祝日 10:00～20:00
TEL　：平日03-3580-5678　土・日・祝日 0570-001334
E-mail　：p-support@daj.co.jp
ユーザーサポートお問い合わせフォーム
：https://sec2.daj.co.jp/userform/ask/form.htm

The翻訳インターネット

The翻訳サポートセンター

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝日ならびに本サポートセンター臨時休業日を除く）
TEL　：0120-1048-37（フリーダイヤル）
携帯電話・PHSをご利用の場合には、03-5465-7290
E-mail　：honyaku@toshiba-sol.co.jp
ホームページ：http://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/internet/index_j.htm

※ ユーザ登録をおすすめします。
http://mt-regist.toshiba-sol.co.jp/ からユーザ登録を行うことができます。
※ 日本語のみでお受けいたします。

Ulead DVD MovieWriter for TOSHIBA

インタービデオジャパンユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後１年間となります。

受付時間　：月～金 9:30～17:00
（12:00～13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）
TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/

Yahoo!ツールバー

Yahoo!ツールバーヘルプ
E-mail ：https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
ホームページ ：https://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/

駅探エクスプレス

駅探エクスプレスサポート
受付時間 ：メールのため受付時間の制限はありません。
※webmasterからの返信は、基本的に平日（10:00～18:00）の対応とさせていただいております。
また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail ：express-support@ekitan.com
ホームページ ：http://express.ekitan.com/

ゼンリンデータコムデジタル全国地図its-mo Navi

ゼンリンデータコム　お客様相談室
E-mail ：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ ：http://www.its-mo.net/contactus/index.html

筆ぐるめ

富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター
受付時間 ：9:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日・休業日を除く）
11月1日から12月30日までは無休
TEL ：03-5600-2551
FAX ：03-3634-1322
E-mail ：users@fsi.co.jp
ホームページ ：http://www.fsi.co.jp/fgw/

まいにちがたからもの

旺文社「まいにちがたからもの」お客様センター
受付時間 ：9:00～18:00（土・日・祝日・休業日を除く）
TEL ：0120-525-415
FAX ：03-5533-4709
E-mail ：takara@m.ochan55.jp
ホームページ ：http://ochan55.jp/

Adobe Reader／CD/DVD静音ユーティリティ／ConfigFree／dynabookランチャー／Internet Explorer／InterVideo WinDVD／Java™ 2 Runtime Environment／LaLaVoice／Microsoft Office OneNote／PC引越ナビ／TOSHIBA Disc Creator／TOSHIBA Flash Cards／TOSHIBA Recovery Disc Creator／TOSHIBA Smooth View／Windows Media Player／Windows フォト ギャラリー／Windows メール／Windows ムービー メーカー／おたすけナビ／できるdynabook／東芝DVD-RAMユーティリティ／東芝HWセットアップ／東芝PC診断ツール／東芝SDメモリカードフォーマット／東芝ボタンサポート／ぱらちゃん

東芝（東芝PC あんしんサポート）

全国共通電話番号 ： 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）
おかけいただくと、アナウンスが流れます。アナウンスに従って操作してください。
技術的な質問、お問い合わせは、アナウンスの後で 1 をプッシュしてください。

技術相談窓口　受付時間：9:00～19:00（年中無休）
[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、または直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝PCあんしんサポート」（http://dynabook.com/assistpc/anshin/index_j.htm）にてお知らせいたします。

3 プロバイダのお問い合わせ先

本製品にインストールされているプロバイダサインアップソフトから契約できるプロバイダのお問い合わせ先は、次のとおりです。

OCN

●OCNサービスの入会に関するご相談

TEL　：0120-506506
受付時間　：9:00～21:00
＊ 年末、年始を除く

●OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先
OCNカスタマサポート

TEL　：0120-047-860
FAX　：0120-047-861
受付時間　：9:00～21:00（月～金）、9:00～17:00（土・日・祝日）
＊ 年末、年始を除く
E-mail　：support@ocn.ad.jp
ホームページ：http://www.ocn.ne.jp/

ODN

ODNサポートセンター

●ODNサービスに関するお問い合わせ

TEL　：0088-86（無料。ダイヤルアップコース）
　　　：0088-222-375（無料。ADSL／光コース）
受付時間　：24時間自動受付（9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

●接続に関するお問い合わせ

TEL　：0088-85（無料。ダイヤルアップコース）
　　　：0088-228-325（無料。ADSL／光コース）
受付時間　：24時間自動受付
（9:00～18:00はオペレーター受付も可能。
また、ADSL／光コースの場合、オペレーター受付は9:00～21:00）

●E-mail によるお問い合わせ

ダイヤルアップコースサービス案内
：odn-support@odn.ad.jp
ダイヤルアップコース接続サポート
：tech-support@odn.ad.jp
ADSL／光コースサービス案内・接続サポート
：info-adsl@odn.ad.jp

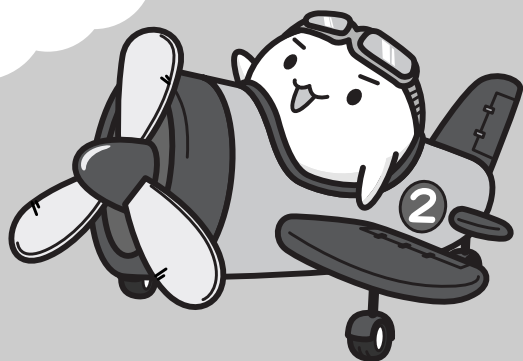
●FAXによるお問い合わせ

ODN FAXサービス　：0088-218-586（無料。年中無休）

So-net
So-net インフォメーションデスク
受付時間　　：9:00〜21:00（年中無休）
TEL　　　　：0570-00-1414
FAX　　　　：03-3446-7557
E-mail　　　：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

Yahoo! BB
Yahoo! JAPAN　新規Yahoo! BB 申し込み受付センター
TEL　　　：0120-33-4546（フリーダイヤル）
受付時間　：9:00〜22:00　（月曜〜金曜）
8:00〜22:00　（土曜、日曜、祝日）
＊ 多数のお申し込みをいただいているため、20時以降、電話がつながりにくい場合があります。20時以前はつながりやすいので、ぜひご利用ください。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 パソコン本体について

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

タッチパッドの操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

2 ハードディスクドライブについて

操作にあたって

- Disk ⊖ LEDが点灯中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にフロッピーディスクやCD／DVDなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、フロッピーディスク、CD／DVDなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

3 CDやDVDについて

CD／DVDの操作にあたって

- ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- ディスクトレイLEDが点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD／DVDを取り出す操作をしないでください。CD／DVDが傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中のCD／DVDのデータやドライブが壊れるおそれがあります。

参照 イジェクトホールについて「1章 4-3-ディスクトレイが出てこない場合」

- ドライブのトレイを開けたときに、CD／DVDが回転している場合には、停止するまでCD／DVDに手を触れないでください。ケガのおそれがあります。
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブにCD／DVDが入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。
- CD／DVDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD／DVDを正しくディスクトレイにセットしないとCD／DVDを傷つけることがあります。

4 無線LANについて

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

・通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報

メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

セキュリティ機能

- セキュリティ機能を使用しないと、無線LAN経由で部外者による不正アクセスが容易に行えるため、不正侵入や盗聴、データの消失、破壊などにつながる危険性があります。
  不正アクセスを防ぐために、ネットワーク名（SSID）の設定や、暗号化機能（WEP、WPA）を設定されることを強くおすすめします。
  また、お使いの無線LANアクセスポイントで、登録したMACアドレスのみ接続可能にする設定などの対策も有効です。
  公共の無線LANアクセスポイントなどで使用される場合は、「Windowsファイアウォール」やファイアウォール機能のあるウイルスチェックソフトを使用して、不正アクセスを防止してください。

無線LANを使用するにあたって

- 無線LANの無線アンテナは、できるかぎり障害物が少なく見通しのきく場所で最も良好に動作します。無線通信の範囲を最大限有効にするには、ディスプレイを開き、本や分厚い紙の束などの障害物でディスプレイを覆わないようにしてください。
  また、パソコンとの間を金属板で遮へいしたり、無線アンテナの周囲を金属性のケースなどで覆わないようにしてください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、《おたすけナビ（検索）：無線LANについて》を確認してください。
- 本製品の無線LANを使用できる地域については、「付録 4-2 ご使用になれる国／地域について」を確認してください。

無線LANの操作にあたって

- Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- アドホックネットワーク機能で、設定されているネットワーク名へのネットワーク接続が不可能になる場合があります。
  この場合、再度ネットワーク接続を可能にするには、同じネットワーク名で接続されていたコンピュータすべてに対して、新たに別のネットワーク名で設定を行う必要があります。

5 周辺機器について

周辺機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって違います。本章の各節を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ホットインサーションに対応していない周辺機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コネクタからACアダプタのプラグを抜き、電源コードを電源コンセントからはずし、バッテリパックを取りはずしてから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。

・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
・ホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
・極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
・静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
・本書で説明している場所のネジ以外は、取りはずさないでください。
・作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
・本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
・ケーブルのコネクタに固定用ネジがある場合は、パソコン本体のコネクタに接続した後、ケーブルがはずれないようにネジを締めてください。
・パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

メモリの増設の操作にあたって

- パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにゴミや油が付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
- 増設メモリを強く押したり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 増設メモリは、コネクタに差し込む部分ではなく両端（切れ込みがある方）を持つようにしてください。
- スリープ／休止状態中に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スリープ／休止状態が無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
- ネジをゆるめる際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。
- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

❑ 静電気について

- 増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって回復不能な損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

USB対応機器の操作にあたって

- 電源供給を必要とするUSB対応機器を接続する場合は、USB対応機器の電源を入れてからパソコン本体に接続してください。
- USB対応機器を使用するには、システム（OS）、および機器用ドライバの対応が必要です。
- すべてのUSB対応機器の動作確認は行っていません。したがってすべてのUSB対応機器の動作は保証できません。
- USB対応機器を接続したままスリープまたは休止状態にすると、復帰後USB対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB対応機器を接続し直すか、パソコンを再起動してください。

❏ 取りはずす前に確認しよう

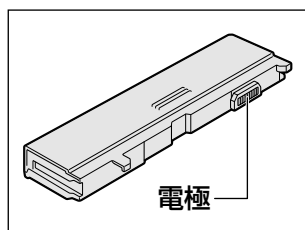
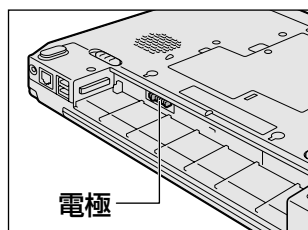
- 取りはずすときは、USB対応機器をアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。
- USBフラッシュメモリやMOドライブなど、記憶装置のUSB対応機器を取りはずす場合は、データを消失するおそれがあるため、必ず使用停止の手順を行ってください。

テレビ接続の操作にあたって

- 必ず、DVD-Videoなどを再生する前に、表示装置の切り替えを行ってください。再生中は表示装置を切り替えないでください。
- 次のようなときには、表示装置を切り替えないでください。
  - ・データの読み出しや書き込みをしている間
  - ・通信を行っている間
- クローン表示にしているときにDVD-Videoを再生させると、画像がコマ落ちをすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたはテレビのどちらかだけに表示するか、拡張表示に設定してください。

6 バッテリについて

バッテリを使用するにあたって

- バッテリパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。スリープを実行している場合は、バッテリパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- 電極に手を触れないでください。故障の原因になります。

- バッテリ駆動で使用しているときは、バッテリの残量に十分注意してください。
  バッテリを使いきってしまうと、スリープが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時計用バッテリを使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、ACアダプタを接続してバッテリと時計用バッテリを充電してください。

バッテリを充電するにあたって

- バッテリパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。
  バッテリは5～35℃の室温で充電してください。

2 メディアについて

メディアを使う前に、次の内容をよく読んでください。
本製品では、次のメディアを使うことができます。

- CD
- DVD
- SDメモリカード
- メモリースティック
- メモリースティックPRO
- xD-ピクチャーカード
- マルチメディアカード

SDメモリカード、メモリースティック、メモリースティックPRO、xD-ピクチャーカード、マルチメディアカードで使用できる容量については『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

1 使えるCDを確認しよう

CD-RW、CD-Rについて／CD-RW、CD-Rの使用推奨メーカ

- CD-RW、CD-Rに書き込む際には、『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』でメディアの使用推奨メーカを確認してください。
- CD-Rに書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RWメディアは書き換え可能なメディアですが、「TOSHIBA Disc Creator」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。
  ファイルの変更・削除が必要な場合は、まずCD-RWメディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
- CD-RWの消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

  参照 エラーチェックの方法『Windowsヘルプとサポート』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

2 使えるDVDを確認しよう

■DVD-RAMの種類

DVD-RAMにはいくつかの種類があります。本製品のドライブで使用できるDVD-RAMは次のとおりです。
カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。両面ディスクで、読み出し／書き込みする面を変更するときは、一度ドライブからメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる　×：使用できない

DVD-RAMの種類	本製品の対応
カートリッジなし＊1	○
カートリッジタイプ（取り出し不可）	×
カートリッジタイプ（取り出し可能）＊2	○

＊1 一部の家庭用DVDビデオレコーダでは再生できない場合があります。
＊2 2.6GB、5.2GBのディスクは使用できません。

DVDについて／DVDの使用推奨メーカ

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込む際には、『dynabook XXXXX（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』でメディアの使用推奨メーカを確認してください。
- DVD-R、DVD+Rに書き込んだデータの消去はできません。
- DVD-RW、DVD+RW メディアは書き換え可能なメディアですが、「TOSHIBA Disc Creator」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。
  ファイルの変更・削除が必要な場合は、まずDVD-RW、DVD+RWメディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
- DVD-RW、DVD+RWの消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されているときには、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rへの書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、メディアに記載された容量分のデータを書き込めない場合があります。
- DVD-RW、DVD-Rへの書き込みでは、DVDの規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約1GBに満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小1GBのデータに編集して書き込みます。
  このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照 エラーチェックの方法『Windowsヘルプとサポート』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込むときは、メディアの状態をよくご確認ください。
- DVD-RAMをドライブにセットしたとき、システムがDVD-RAMを認識するまでに多少時間がかかります。

メモ

- 市販のDVD-Rには業務用メディア（for Authoring）と一般用メディア（for General）があります。
  業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込みすることができません。
  一般用メディア（for General）を使用してください。
- 市販のDVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rには「for Data」と「for Video」の2種類があります。映像を保存する場合や家庭用DVDビデオレコーダとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。
- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれのメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。

3 メディアカードを使う前に

1 メディアカードの操作にあたって

- ブリッジメディア LEDが点灯中は、電源を切ったり、メディアを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データやメディアが壊れるおそれがあります。
- メディアは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、メディアが壊れるおそれがあります。
- スリープ中は、メディアを取り出さないでください。データが消失するおそれがあります。
- メディアのコネクタ部分（金色の部分）には触れないでください。静電気で壊れるおそれがあります。
- メディアを取り出す場合は、必ず使用停止の手順を行ってください。データが消失したり、メディアが壊れるおそれがあります。

2 SDメモリカードを使う前に

- ブリッジメディアスロットにminiSDメモリカードをセットするときは、必ずminiSDアダプタを装着した状態で行ってください。
  miniSDメモリカードにminiSDアダプタが付いている場合は、付属のminiSDアダプタをご使用ください。
- ブリッジメディアスロットからminiSDメモリカードを取りはずすときは、必ずminiSDアダプタに装着したままの状態で行ってください。
- すべてのSDメモリカードの動作確認は行っていません。したがって、すべてのSDメモリカードの動作保証はできません。

- SDメモリカードは、SDMIの取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。
  そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。SDMIとはSecure Digital Music Initiativeの略で、デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体のことです。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- SDメモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐSDMIに準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、使用できるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

3 メモリースティックを使う前に

- 本製品は、メモリースティックDuo、メモリースティックPRO Duoとメモリースティックアダプタには対応していません。
- 本製品は、著作権保護技術MagicGateには対応していません。本製品では、著作権保護を必要としないデータの読み出し／書き込みのみできます。
- すべてのメモリースティックの動作確認は行っていません。したがって、すべてのメモリースティックの動作は保証できません。
- メモリースティックの詳しい使いかたなどについては『メモリースティックに付属の説明書』を確認してください。

4 xD-ピクチャーカードを使う前に

- すべてのxD-ピクチャーカードの動作確認は行っていません。したがって、すべてのxD-ピクチャーカードの動作は保証できません。
- xD-ピクチャーカードの詳しい使いかたなどについては『xD-ピクチャーカードに付属の説明書』を確認してください。

5 マルチメディアカードを使う前に

- すべてのマルチメディアカードの動作確認は行っていません。したがって、すべてのマルチメディアカードの動作は保証できません。
- マルチメディアカードの詳しい使いかたなどについては『マルチメディアカードに付属の説明書』を確認してください。

4 記録メディアの廃棄・譲渡について

記録メディア（フロッピーディスク、半導体メモリ、CD、DVDなど）を廃棄・譲渡する際には、書き込まれたデータが流出しないよう、適切な方法で消去することをおすすめします。
初期化、削除、消去などの操作などを行っても、データの復元ツールで再生できる場合もありますので、十分ご確認ください。
データ消去のための専用ソフトや、メディア専用のシュレッダーも販売されています。

3 技術基準適合について

「おたすけナビ」にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、「おたすけナビ」の記載もあわせてご確認ください。

■高調波対策について

参照 《おたすけナビ（検索）：技術基準適合について》

■国際エネルギースタープログラムについて

参照 《おたすけナビ（検索）：技術基準適合について》

■「FCC information」について

参照 《おたすけナビ（検索）：技術基準適合について》

■瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

参照 《おたすけナビ（検索）：パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい》

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity

CE

TOSHIBA declares, that the product: PSAAN********, PSAAU********, PSAAR********
conforms to the following Standards:
Supplementary Information : "The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC,the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EC."
This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives.
Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm8,41460 Neuss,Germany.

付録

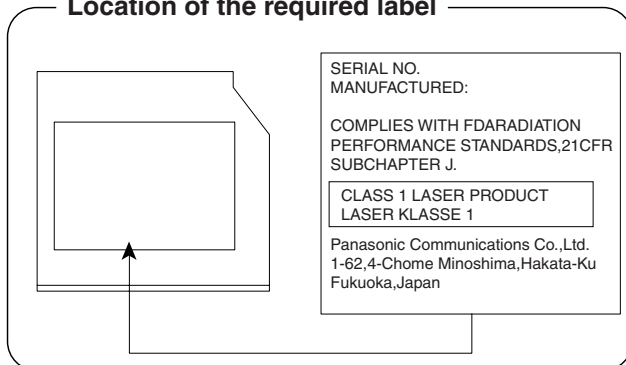
Panasonic DVDスーパーマルチドライブUJ-850（DVDスーパーマルチドライブ DVD±R 2層式メディア対応）安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で“クラス1レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。
   本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

HITACHI LG DVDスーパーマルチドライブGSA-T10N（DVDスーパーマルチドライブ DVD±R 2層式メディア対応）安全にお使いいただくために

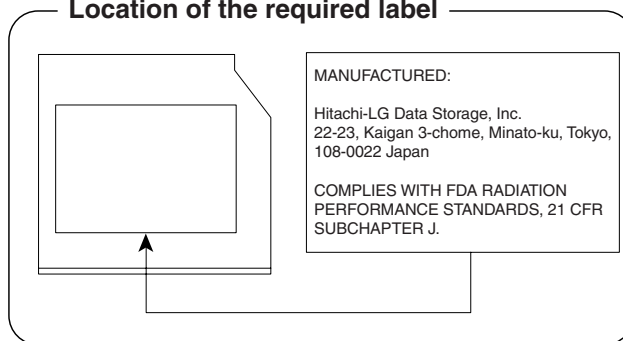
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で“クラス１レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。
本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

付録

Pioneer DVDスーパーマルチドライブDVR-K17
（DVDスーパーマルチドライブ DVD±R 2層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

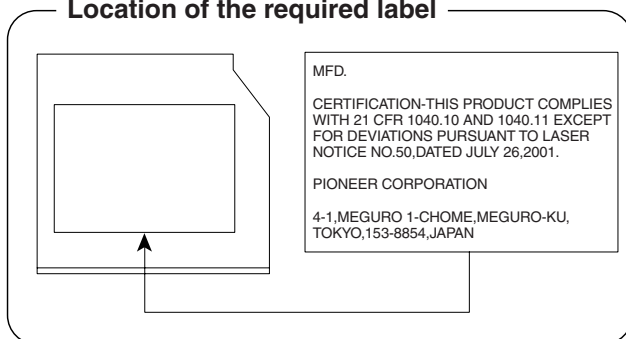
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で
   “クラス１レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

   CLASS 1 LASER PRODUCT
   LASER KLASSE 1
   クラス1レーザー製品

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN, AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B QUAND OUVERT. ÉVITEZ TOUT EXPOSITION AU FAISCEAU.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
VARO !	AVATTAESSA OLET ALTTIINA NÄKYVÄLLE JA NÄKYMÄTTÖMÄLLE LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. UNDVIK AT T UTSÄTTA DIG FÖR STRÅLEN.
VORSICHT	BEI GEÖFFNETER ABDECKUNG IST SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG DER KLASSE 3B IM GERÄTEINNEREN VORHANDEN. NICHT DEM LASERSTRAHL AUSSETZEN!
PRECAUCIÓN	CUANDO SE ABRE HAY RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 3B VISIBLE E INVISIBLE. EVITE LA EXPOSICIÓN A LOS RAYOS LÁSER.
注意	ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。

4 無線LANについて

おたすけナビにも、無線LANに関する説明が記載されています。
本書だけでなく、オンラインマニュアルの記載もあわせてご確認ください。

参照 《おたすけナビ（検索）：無線LANについて》

1 無線LANの概要

本製品には、モデルによりIEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11gに準拠した無線LANモジュールが内蔵されています。次の機能をサポートしています。

- 規格値54Mbps無線LAN対応（IEEE802.11a/11gの場合）*1
- 規格値11Mbps無線LAN 対応（IEEE802.11bの場合）*1
- 周波数チャネル選択
- マルチチャネル間のローミング
- パワーマネージメント

＊1 表示の数値は、無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

メモ

- IEEE802.11aは屋外では使用できません。

2 ご使用になれる国／地域について

お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

■Atheros a/b/g 対応モデル

- 802.11aモードではアドホック通信は使用できません。
- 802.11bおよび802.11gモードでのアドホック通信は、チャネル1～チャネル11で使用できます。
- 802.11bモードでのインフラストラクチャ通信は、チャネル1～チャネル14で使用できます。
- 802.11gモードでのインフラストラクチャ通信は、チャネル1～チャネル13で使用できます。
- 802.11aモードでのインフラストラクチャ通信は、チャネル34、36、38、40、42、44、46、48、52、56、60、64で使用できます。

●802.11b/g（2.4GHz）

日本でのみ使用できます。

●802.11a（5GHz）

日本でのみ使用できます。

■Atheros b/g 対応モデル

- 802.11bおよび802.11gモードでのアドホック通信は、チャネル1～チャネル11で使用できます。
- 802.11bおよび802.11gモードでのインフラストラクチャ通信は、チャネル1～チャネル11で使用できます。

●802.11b/g（2.4GHz）

アイスランド	オーストリア	スロバキア	ニュージーランド	ポルトガル
アイルランド	オランダ	スロベニア	ノルウェー	香港
アメリカ合衆国	カナダ	タイ	バーレーン	マルタ
イギリス	キプロス	台湾	ハンガリー	マレーシア
イタリア	ギリシャ	チェコ	フィリピン	ラトビア
インド	シンガポール	中国	フィンランド	リトアニア
エジプト	スイス	デンマーク	フランス	リヒテンシュタイン
エストニア	スウェーデン	ドイツ	ベルギー	ルクセンブルク
オーストラリア	スペイン	日本	ポーランド	ロシア

さくいん

テ

ト

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

ム

メ

モ

ユ

リ

ワ

東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、アナウンスが流れます。

アナウンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

インターネットもご利用ください。

▼お問い合わせの多い質問をインターネットでご紹介「よくあるご質問（FAQ）」

http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

▼専用フォームからお問い合わせ「東芝PCオンライン」

よくあるご質問（FAQ）で問題が解決しないときはアンケートにお答えいただき、専用フォームから文書でお問い合わせください。※ご利用にはお客様登録が必要です。

▼インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝PCあんしんサポート」（http://dynabook.com/assistpc/anshin/index_j.htm）上にてお知らせいたします。

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
　東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

dynabook いろいろな機能を使おう

平成18年12月1日　第1版発行　GX1C000BY910

発行　株式会社東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社
PC第一事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000BY910
Printed in China